デジタル ビデオ レコーダ(DVR)
取扱説明書

モデル:　NR06

このたびは、デジタル・ビデオ・レコーダ NR06(以後、本製品と称します)をお買い求めいただき、ありがとうございます。
本製品の接続、操作または調節を行う前に、本書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

注意

感電の危険あり
開けないでください

注意: 感電の危険がありますので、
カバー(バック)を取り外さないでください。
修理は、アレクソン・サポートセンターへ
ご依頼ください。

正三角形の中に矢印の付いた稲妻せん光は、本製品内にある絶縁していない危険な電圧(人体に感電の恐れのある高電圧)があることのユーザへの警告です。

正三角内の感嘆符(!)は、本製品の重要な動作および保守(サービス)に対するユーザへの注意です。

FCC 警告 : 本製品は無線周波数のエネルギーを発生または使用しています。本製品を変更または修正すると、修正が取扱説明書で明示的に承認されていない限り、有害な干渉の原因となる可能性があります。許可されていない変更または修正がなされると、本製品を操作する権限を失います。

規制情報: FCC規則 パート15

この装置は、FCC規則のパート15に従ったテストを行ってクラス A デジタル装置の限界値に適合していることが証明されています。この限界値は、商業地域で使用するときに、障害の原因となる電磁波妨害に対して相応の防護ができる値に設定されています。 この装置は無線周波エネルギーを発生し、放射するので、本書に従わない設置をした場合、無線通信の障害原因となる電磁波妨害が発生することがあります。 この装置を住宅地域で使用する場合にも、障害の原因となる電磁波妨害が発生することがあります。 この場合、ユーザは自身の費用でその対策を講じることを要求されます。

警告: 本製品を本棚または閉じられた空間に設置しないでください。

警告: 配線方法はNEC コード ANSI/NFPA 70に従ってください。

警告: 本製品はクラスA製品です。本製品は家庭環境で無線干渉の原因となる可能性があります。その場合、ユーザは適切な手段を講じることが要求されます。

警告: 火災または感電の危険がありますので、本製品を雨または湿気があるところに設置しないでください。

注意: 本製品に水がかからないように(水滴または、水はね)、水の入った花瓶などを本製品の上に置かないでください。

注意:

本製品にはレーザー システムが使われています。
本製品を正しく使用するために、本書を良くお読みください。また、お読みになった後も本書を大切に保管してください。本製品のメンテナンスが必要なときは、アレクソン・サポートセンターへご連絡ください。
ここに指定された以外の操作、調整あるいは手順を行った場合には、危険な放射線にさらされることがあります。
また、直接レーザー光線を受けることがないように、カバーを開けないでください。
カバーを開けると可視レーザー光線にさらされますので、のぞき込まないでください。

本製品は主電源プラグを遮断装置として使用しております。
主電源コンセントの近くに設置し、遮断装置へ容易に手が届くようにして下さい。

重要な安全上の注意

1. 本書の指示に従って、設置してください。
2. 本書の指示に従って、運用してください。
3. 水のまわりで、本製品を使用しないでください。
4. 清掃は乾燥した布だけを使ってください。
5. 換気口を塞がないでください。
6. ストーブなどの熱源(アンプを含む)の近くに、本製品を置かないでください。
7. 極性またはアースのあるプラグの安全使用に違反しないでください。極性のあるプラグはブレードが2つあり、一つは他より広いです。アース型のプラグは二つのブレードと三番目の突起があります。広いブレードまたは三番目の突起が安全に寄与します。提供されたプラグがコンセントに合わない場合、その旧式コンセントの置換を電気技術者に相談してください。
8. 電源コードの上を歩いたり、プラグ、ソケットおよび、本製品から出ている部分を挟んだりしないよう保護 してください。
9. メーカが指定する付属品/アクセサリだけを使用してください。
10. カートを使用するとき、移動でひっくり返してこの製品を破損しないよう注意してください。

11. 雷が鳴り始めたり、本装置を長期間使用しない場合、電源プラグを抜いてください。
12. お問い合わせは、アレクソン・サポートセンターへご相談ください。

安全警告および注意

以下にユーザの安全とあらゆる財物損害の防止のための警告と注意を記しています。
すべてをお読みください。

警告

- 本製品の設置前に電源をオフにします。同一のコンセントに複数の電気装置のプラグを差し込まないでください。
  - 過熱、火災、または感電の原因になります。
- 水、コーヒーなどの飲料の液体容器を、本製品の上に置かないでください。
  - 液体がかかると、本製品が故障したり火災の原因になります。
- 電源コードをひどく曲げたり、重い物体を載せないでください。
  - 火災を起こすことがあります。
- 本製品やその周りを定期的に清掃してください。
  清掃するときは、乾燥した布を使用してください(濡れた布や有機溶剤を使用しないでください)。
  - 本製品の表面を損なったり、本製品の故障や感電の原因になります。
- 湿気、塵、またはすすがある場所は避けてください。
  - 火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードをプラグから抜くとき、穏やかに引っ張ってください。濡れた手でプラグに触れないでください。
  コンセントの穴が緩すぎる場合そのプラグの使用を避けてください。
  - 火災や感電を起こすことがあります。
- 本製品を分解、修理、改変を行わないでください。
  本製品に高電圧がかかっているため、極めて危険です。
  - 火災や感電を起こしたり、重大故障の原因になることがあります。
- 湿った床、電源コードが緩いまたは傷ついている、設置台が不安定などの危険な兆候をチェックしてください。
  - 火災や感電を起こすことがあります。
- 本製品の背面と壁間は、少なくとも15cmの余地をとってください。
  コードが曲がったり、破損、切断の原因になります。
  - 火災、感電、または傷害が起きることがあります。
- 本製品を直射日光のない涼しい場所に設置し、室温に保持してください。ロウソクやヒータなどの熱を発する物を避けてください。本製品を大勢の人がいる場所から離してください。
  - 火災が起こることがあります。
- 本製品を十分に換気されている平らな場所に設置してください。高所には置かないでください。
  - 本製品が破損したり、重大故障を起こしたりすることがあります。
- 電源コンセントはアースをとり、電圧範囲は定格の10 % 以内にしなければなりません。コンセントはヘアー・ドライヤ、アイロン、冷蔵庫など熱を発する機器と共用しないでください。
  - 火災、過熱、感電の恐れがあります。
- 電池が劣化したら、同一のメーカまたは、同等電池と交換してください。
  - 爆発の恐れがあります。
- 本製品のHDDの寿命がきたら、HDD内に保存したデータを回復できないことがあります。
  また、本製品のHDD内の映像を再生しているとき、システム・スクリーンの映像が「損傷」したように見えるときは、アレクソン・サポートセンターへご相談ください。
  - LG Electronics はユーザの不手際によるデータの消去に責任を負いかねます。

注意

本製品を設置する前に、以下のことに気をつけてください。

- 湿気、ほこり、またはすすに触れる場所に、本製品を置かないでください。
- 直接日光が当たる場所や暖房機器に近い場所に、本製品を置かないでください。
- 本製品を感電が起こる場所や磁気物質から離してください。
- 極端な温度を避けてください(推奨動作温度は0℃~40℃です)。
- 本製品の通気口をふさがないでください。
- 本製品を設置するときは、電源をオフにしてください。
- コード接続のため十分なスペースがあることを確認してください。

- ラジオまたはTVなどの電子機器の近くに本製品を設置すると、故障の原因になることがあります。

- 本製品を分解しないでください。

- 本製品の中に異物を入れないでください。
  - 故障の原因になります。
- 十分に換気されている場所に、本製品を設置してください。
  - 本製品の背面と壁間は少なくとも15cmの間隔をとり、本製品の側面と壁間は少なくとも5cmの間隔をとってください。
- 強い磁気、電波、ラジオやTVなどの無線機器がある場所に、本製品を設置しないでください。

- 本製品の上に物を置かないでください。
  - 故障の原因になります。
- 振動する場所を避けて、安定した場所に本製品を設置してください。
  - 正常に動作しないことがあります。
- 適度な湿気と温度の場所に設置してください。
  - 高温下(40℃以上)、低温下(0℃以下)での設置は避けてください。
- 本製品に強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因になります。

- 設置場所を十分に換気してください。
  - 故障は不適当な環境により起こることがあります。

  安定した電源供給にはAVR (自動電圧調整器)の使用を推奨します。
  電磁妨害を避けるため、本製品のコネクタの周辺にフェライト・コアを巻くことを推奨します。
- コンセントにはアースを取らなければなりません。
- 異音または異臭がしたら電源プラグをすぐに抜き、アレクソン・サポートセンターへご連絡ください。
  - 火災や感電の原因になることがあります。
- 安定した動作を維持するため、定期的に点検してください。

  - LG Electronics はユーザの不手際に起因する本製品の故障に責任を負いかねます。
  - 電池を不適当なタイプと交換すると爆発の危険があります。
- 本製品を使用中に転倒させないでください。

お問い合わせ先 サポートセンター　伊丹　☎072-780-1101
受付時間：月曜～金曜　9:20～12:00・13:00～17:00
（祝祭日、年末年始、弊社休日を除く）
http://www.alexon.co.jp/

目次

始めに 7

機能 7
付属品 7
前面パネル 8
背面パネル 9
リモコン 10

接続と設定 11

注意 11
基本的な接続の概要 11
カメラの接続 12
表示デバイスの接続 12
オーディオデバイスの接続 12
USBデバイスの接続 12
CONSOLE (RS-232C)ポートへの接続 13
マウス 13
ネットワークの接続 13
RS-485デバイスの接続 13
アラーム入力とアラーム出力の接続 14

本装置の操作 15
メイン・モニタのライブ・スクリーンの概要 16
コンフィギュレーション メニュー 20
カメラの設定 21
スケジュールの設定 24
ディスプレイの設定 27
イベント設定 28
ネットワークの設定 29
システムの設定 32

録画 38

インスタント録画 38

検索と再生 39

再生 39
検索 39

クライアント・プログラム 42

PCの必要条件 42
クライアント・プログラムのインストール 42
DVRに接続 42
DVRクライアント・プログラムのメイン・スクリーン 43

ライブ・モード 44
検索モード 47
リモート・セットアップ・モード 48
リモート エキスポートの設定 52

追加プログラム 54

緊急エージェント・プログラム 54
エクスポート・ビューア・プログラム 55
ウェブ ビューアー プログラム 56

参考資料 58

トラブルシューティング 58
推奨デバイス 61
タイム ゾーン 62
出荷時設定一覧 63
録画タイム・テーブル(500GB HDD) 66
仕様 69

始めに

機能

- 安定な組込みLinuxオペレーティング・システム。
- ファイル・システムのジャーナル処理による電源回復後のHDDファイル・システムの回復。
- H.264圧縮による小さなファイル・サイズ。

- NTSCとPALビデオ・フォーマットが選択可能。
- 完全なリアルタイム録画。

NTSC	最大120 IPS @ 352x240, 最大 60 IPS @ 704x240, 最大 30 IPS @ 704x480
PAL	最大 100 IPS @ 352x288, 最大 50 IPS @ 704x288, 最大 25 IPS @ 704x576

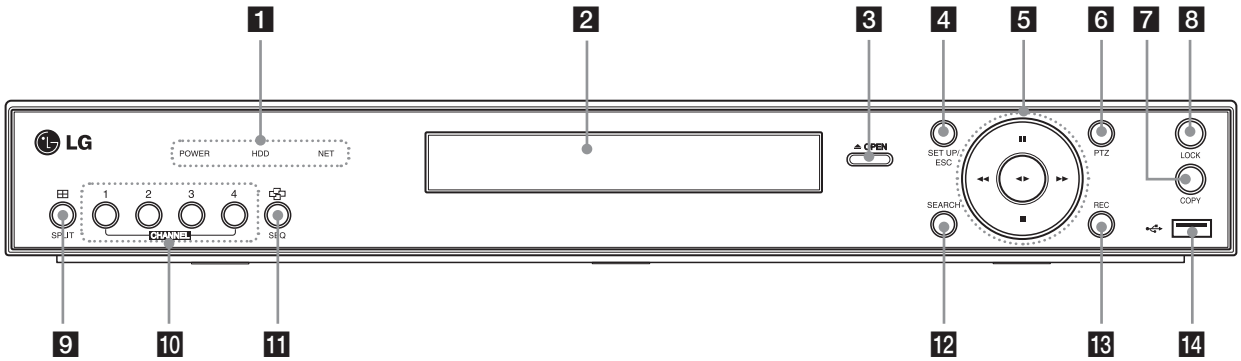
- 色々な録画解像度と画質レベル。
  - D1(704x480)、半D1(704x240)、CIF(352x240) : NTSC
  - D1(704x576)、半D1(704x288)、CIF(352x288) : PAL
  - 5ステップの画質レベル(最高、高、標準、低、最低)
- 色々なユーザ・インターフェースとユーザ・フレンドリなGUIを用いて容易な操作。
  - マウス(PS2タイプ)、リモコンによる操作

- 強力なマルチプレックス機能
  - 同時ライブ表示、録画、再生、ネットワーク転送、バックアップ
- 色々な検索機能
  - 日付/時間検索 (カレンダー サーチ)、イベント検索、ブックマーク検索
- イベント・パーティション録画によるイベント・データ保護
- プリ・アラーム録画(最長1分)
- モーション イベント録画
- 映像録画速度とカメラごとの画質調節
- 強力な録画スケジューリング。
- 監視モードでインスタント再生。
- オーディオとビデオの完全な同期
- スケジュールによる自動バックアップ
- 映像確認(透かし)
- バックアップ・インターフェース用USB 2.0ポート×3
- USBメモリを用いたコンフィギュレーション設定のエクスポート/インポート
- USBメモリまたはネットワークにより容易なシステムS/Wの更新
- クライアントS/Wは最大100 DVRサーバー管理可能
- 最大5クライアントが1つのDVRサーバーに同時アクセス可能
- ネットワーク帯域幅スロット
  - ネットワーク速度の状態により、自動帯域幅調節
- クライアント・ソフトウェアまたは電子メールによるリモート・アラームの通知
- NTPサーバーから日付と時刻の同期
- デイライト調整モード
- カメラ非表示機能
- CD自動実行のバックアップ
- ユーザ管理(ユーザ・レベル制御)
- PTZ制御。
  - 詳細は61ページをご参照ください。
  - ドーム・カメラ・テレメトリ制御(ドームOSD制御)

付属品

ソフトウェア、取扱説明書(CD-ROM)	
マウス(PS2タイプ)	
リモコン	
単四電池	
電源プラグ	
DCアダプター	
HDD固定ネジ	
保証書	

前面パネル



1 電源表示灯(POWER)： 本製品の電源がオンのとき点灯します。

HDDインジケータ: HDDがアクセスするとき点滅します。

ネットワーク表示灯(NET)： LANケーブルが接続されているときに点灯します。

2 ディスク トレイ: ディスクを挿入します。

3 OPEN : ディスク トレイを開閉します。

4 SETUP/ESC: セットアップ・メニューを表示するか、その操作を取り消します。

5 再生制御ボタン

- ❚❚: 再生中断。
- ◀◀: 録画済み映像の逆送り検索。
- ◀▶: 録画映像を再生または逆再生します。
- ▶▶: 録画済み映像の順送り検索。
- ■: 再生停止。

6 PTZ: 本製品をPTZモードに切替えて、PTZカメラを制御します。

7 COPY: 外部デバイスに録画データをコピーします。

8 LOCK: ユーザ・タイプの変更または、本製品の操作を禁止するため、ロック・メニューを表示します。

9 SPLIT: 別のマルチスクリーンモードにします。

10 CHANNEL: 個々のカメラを選択します。

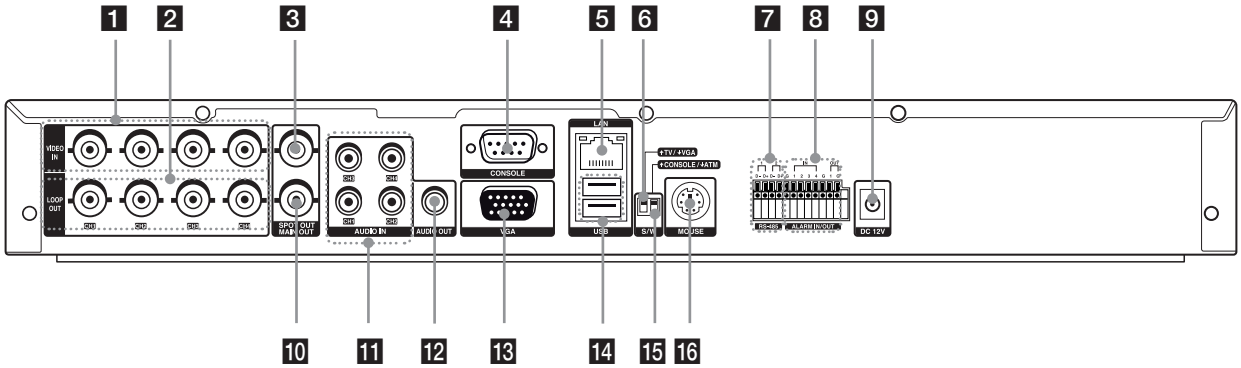
11 SEQ: 全てのチャンネルを順番に表示します。

12 SEARCH: 検索メニューを表示します。

13 REC: インスタント録画を開始または停止します。

14 USBポート: バックアップまたは再生のため外部USBデバイスを接続します(USBタイプのマウスには対応していません)。

背面パネル



1 VIDEO INPUT
これらのBNCコネクタにカメラのビデオ出力を接続します。

2 LOOP OUT
VIDEO INPUTコネクタからの信号はこのコネクタにループします。

3 SPOT-OUT (BNC形コネクタ)
スポット・モニタまたは表示デバイスに接続します。

4 CONSOLE (RS-232Cコネクタ)
RS-232Cコネクタ(パソコンなど)を備えているホスト・デバイス(パソコンなど)への接続に使用します。

5 LANポート
PCから本製品を制御するために、LANケーブルを接続します。

6 NONE
(このスイッチは触らないでください)

7 RS-485 ターミナル
RS-485互換カメラを接続します。LKD1000コントローラをD2ターミナルに接続します。

8 ALARM IN/OUT ターミナル
- IN: アラーム（リレー）信号に対する入力ターミナル
- OUT: アラーム（リレー）信号に対する出力ターミナル

9 電源コネクタ(DC 12V)
付属のDCアダプタを接続します。

10 MAIN一OUT(BNC形コネクタ)
メイン・モニタまたは表示デバイスに接続します。

11 AUDIO INPUT
外部デバイスのオーディオ出力を接続します。

12 AUDIO OUT
外部デバイスのオーディオ入力を接続します。

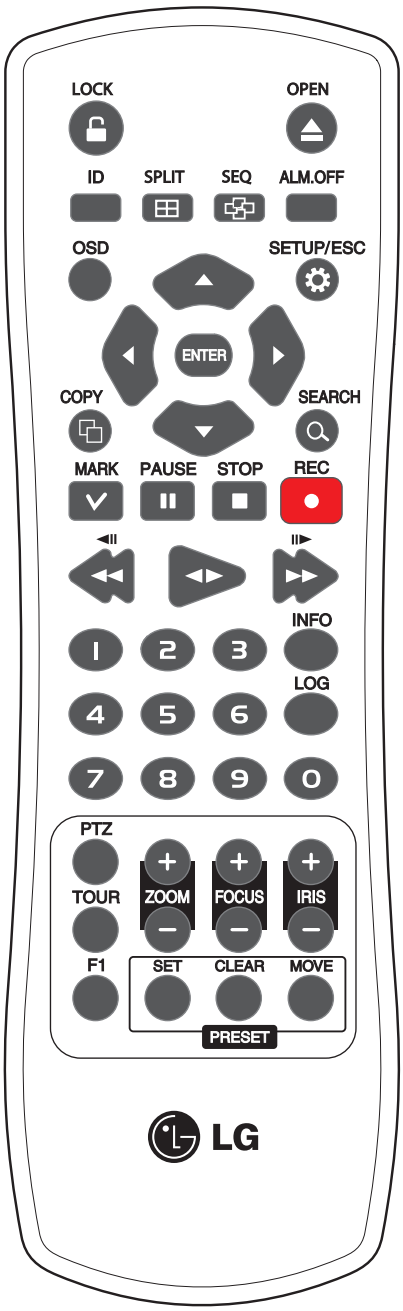
13 VGA
VGAモニタを接続します。

14 USBポート
オプションの拡張USBデバイスを接続します。

15 CONSOLE/ATM出力選択スイッチ
(このスイッチは触らないでください)

16 MOUSE
マウス(PS2タイプ)を接続します。

リモコン



- **LOCK:** ユーザ・タイプの変更または、本製品の操作を無効にするため、ロック・メニューを表示します。
- **OPEN:** ディスク トレイを開閉します。

- **ID:** 本製品を複数台使用する場合、リモコンを使って操作するため、本製品に設定されたIRリモートIDをリモコンに設定します。IDボタンを押下後、2秒以内に番号ボタンを押すと、リモコンにIDを設定します。IDに「0」を設定すると、本製品を同時に複数台制御することができます。
- **SPLIT:** 別のマルチスクリーンモードにします。

- **SEQ:** フルスクリーン表示モードですべてのチャンネルを順次シーケンシャルに見るボタンです。 4分割画面ではこのシーケンスモードは利用できません。
- **ALM.OFF:** アラーム起動を取り消し、本製品をアラーム始動前の状態に戻します。
- **OSD:** サブメニューを表示します。
- **SETUP/ESC:** セットアップ・メニューを表示するか、またはセットアップ・メニューの操作を取り消します。
- **矢印ボタン (◄ ► ▲ ▼):** メニューのオプションの間を移動したり、オプションを選択したりします。
- **ENTER:** メニューの選択を入力します。
- **COPY:** 外部デバイスに録画データをコピーします。
- **SEARCH:** 検索メニューを表示します。
- **MARK:** 録画検索のためマーク・ポイントをセットします。録画済みデータをシングルチャンネルまたはマルチチャンネルで再生中に、マークを打つことができます。
- **PAUSE (❚❚):** 再生を中断します。
- **STOP(■):** 再生を停止します。
- **REC (●):** 録画を開始または停止します。
- **◄◄/◄II** : 録画映像を逆方向に検索または、スキップします。
- **◄►**: 録画映像を順方向に再生または、逆方向に再生します。
- **►►/II►** : 録画映像を順方向に検索または、スキップします。
- **番号ボタン (0,1-9):** PTZプリセット番号、IDまたはチャンネルを選択します。
- **INFO:** システム情報ウィンドウを表示または、削除します。
- **LOG:** システム・ログ・リストのウィンドウを表示または、削除します。
- **PTZ:** 本製品をPTZモードに切替えて、接続されているPTZカメラを制御します。

- **TOUR:** カメラのすべての登録プリセット位置を巡回します。
- **ZOOM + / -:** 再生ウィンドウ上でズーム イン/アウトします。
- **FOCUS + / -:** カメラの焦点を調節します。
- **IRIS + / -:** カメラの絞りを調節します。
- **F1:** このボタンは使用できません。
- **PRESET**
  - **SET**: PTZカメラのプリセット位置を登録します。
  - **CLEAR**: 記憶したプリセット位置を削除します。
  - **MOVE**: カメラをプリセット位置に移動します。

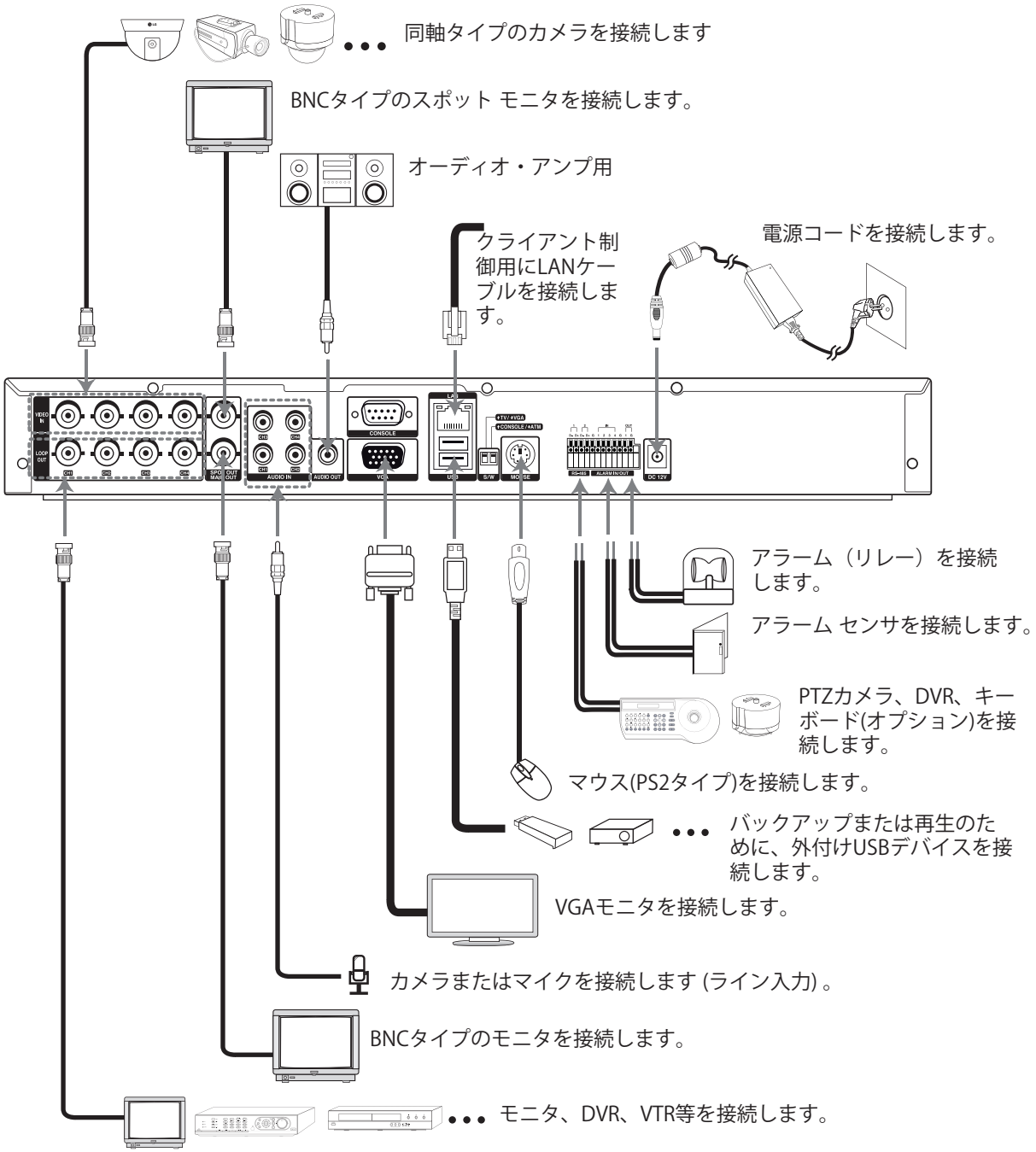
接続と設定

注意

- 本製品は、色々な方式のカメラや他の機器を接続することができます。
  接続した機器の使用方法は、その機器の取扱説明書を参照してください。

- インストールと接続前にはカメラをオフにすることを忘れないでください。

基本的な接続の概要

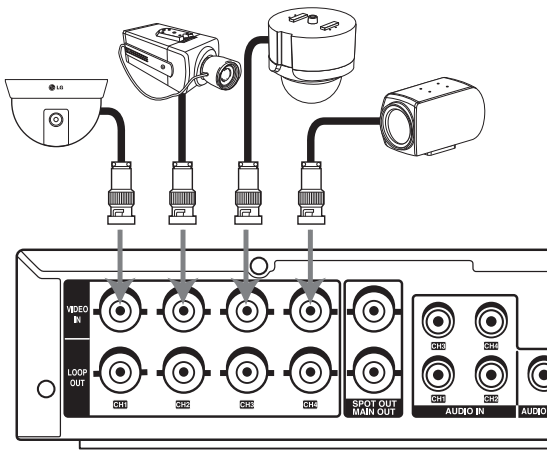


カメラの接続

BNCコネクターに75Ωのビデオ同軸ケーブルを用いて、装置にカメラを接続します。

各カメラに2つのBNCコネクターが付いています。 どちらかのコネクターでカメラの信号を受信できます。

この信号は他のコネクターにループスルー(直接に接続)されますので、カメラの信号を他の機器へ送ることが可能です。

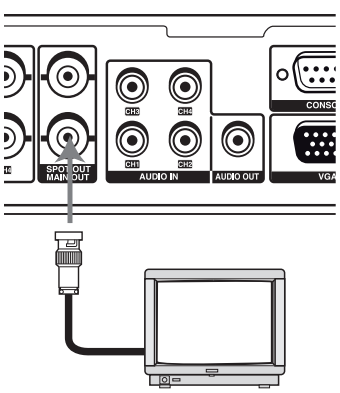


表示デバイスの接続

VGAとMAIN OUTジャックから同時に出力されます。

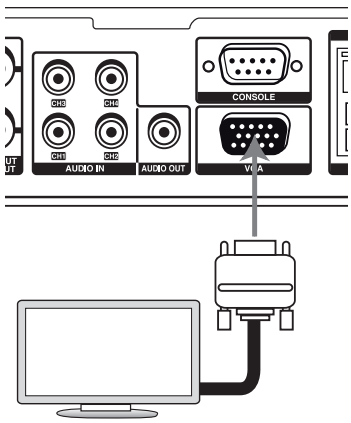
CCTV(コンポジットビデオタイプ)のモニタの接続

BNCコネクターに75Ωのビデオ同軸ケーブルを用いて、装置にモニタを接続します。



VGAモニタの接続

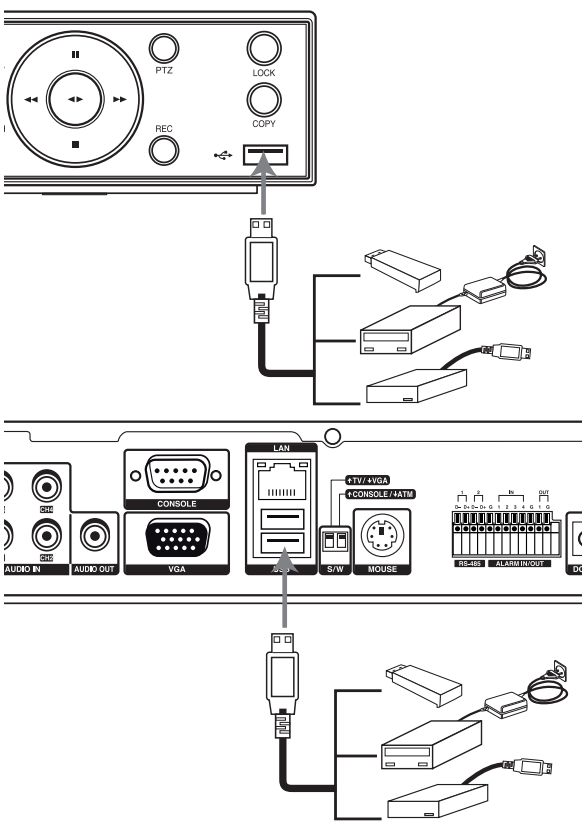
VGAケーブルを使用して、装置背面のVGAジャックをTVの対応する入力ジャックに接続します。



オーディオデバイスの接続

装置のAUDIO OUTジャックにオーディオデバイスのモノラルジャックを接続します。

USBデバイスの接続



USBメモリ・デバイス

USBポートにメモリ・デバイスを挿入します。
本製品は自動的にデバイスを認識します。
USBメモリを用いて、システム・ソフトウェアを容易にアップグレードできます。

USBバックアップ・デバイス

USBバックアップデバイスのUSBケーブルをUSBポートに接続します。
(例: HDDあるいはその他のストレージ装置)

注:
USBタイプのマウスは接続しないでください。

CONSOLE (RS-232C)ポートへの接続

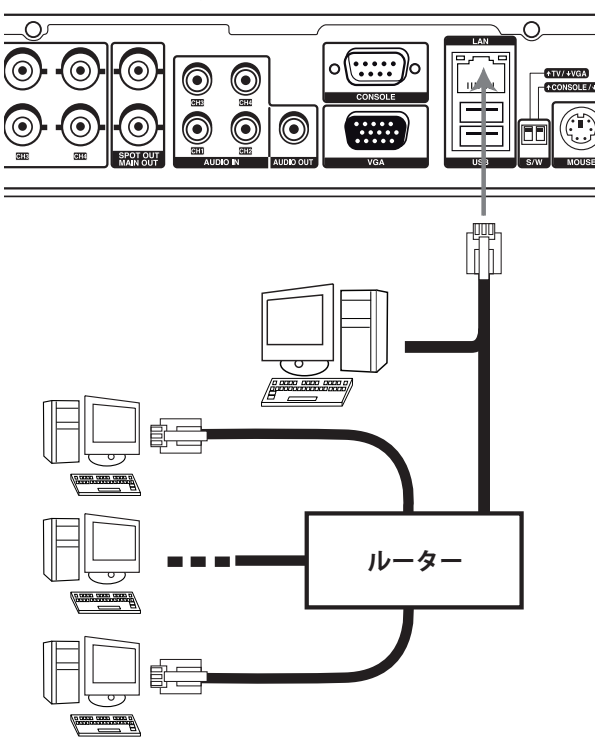
シリアルRS232コンソール コネクターは、サービスのためにPCを装置に接続するために使用されます。PCのシリアル ポートを装置に接続するためには、クロスケーブルを使用します。
このターミナルはRS-232Cに適合しています。

マウス

装置の機能をコントロールするためにマウスを接続します。

ネットワークの接続

ネットワーク経由で本製品のコントロールとモニタが可能です。 リモコンを用いて(モニタリング)、本製品のコンフィギュレーションを変更できます、またネットワーク(LAN)経由で映像のモニタもできます。 設置後に、リモートからのコントロールとモニターを可能にするためにシステム設定メニューでネットワークを設定してください。



LAN接続

PCまたはルーターとLANケーブルで接続します。
前面パネルのNETインジケータが点灯します。

自動ネットワーク構成

本製品は、DHCPを経て自動的にネットワーク・インターフェースを得て、構成できます。

手動ネットワーク構成

IPアドレスやサブネットマスク、ゲートウェイ、DNSを指定することで、本製品のコンフィギュレーションを手動で設定することもできます。

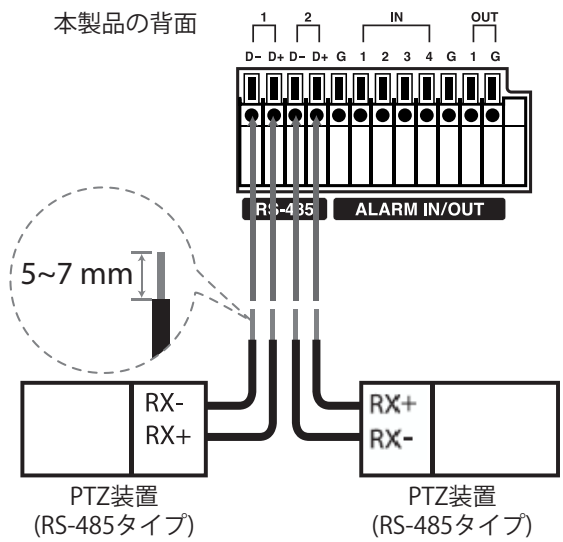
RS-485デバイスの接続

本製品には、2つのDATAターミナルがあります。
PTZカメラ、DVRまたはキーパッド (オプション)を接続するときに、このポートを使用します。

RS-485ターミナル	説明
D - (DATA -)	データ送信/受信
D + (DATA +)	データ送信/受信
GND	シールド

PTZカメラの接続

PTZシリアル通信ラインのRS-485ターミナルへの接続

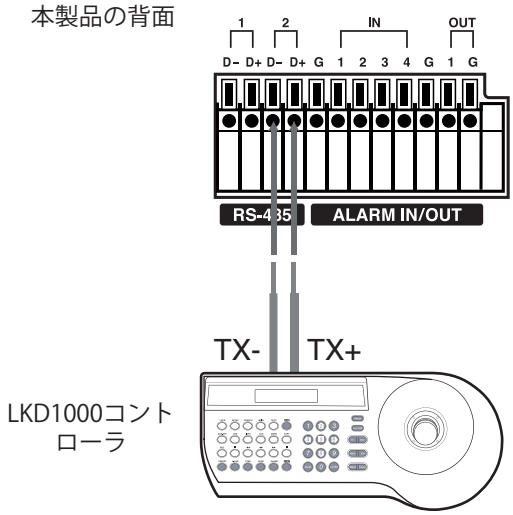


注:

- ラインを接続するときは、本製品の**D-**をPTZデバイスの**RX-** に、**D+**を**RX+**に正しく接続します。
- 推奨初期データは9600ボー・レ- ト、8データ・ビット、1ストップ・ビット、およびパリティ無しです。
- PTZカメラを本製品に接続するとき、カメラと本製品のRS−485設定に従い、本製品の設定が必要です。

LKD1000コントローラの接続

本製品を制御するためのLKD1000コントローラを接続（詳細に関しては、LKD1000コントローラのマニュアルを参照してください）



注:

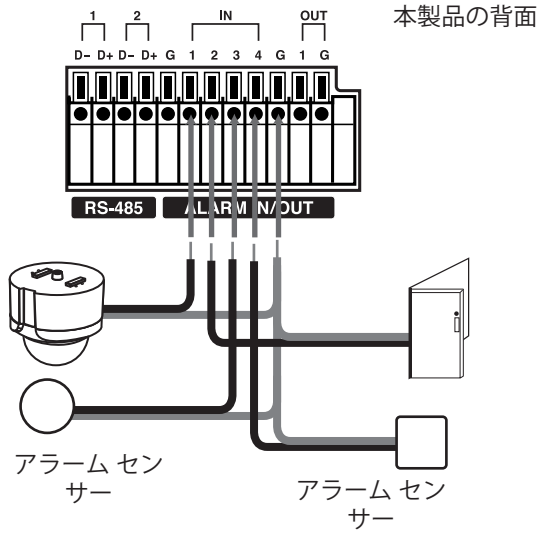
- LKD1000コントローラ付きのPTZカメラはD1ポートやD2ポートに接続しないでください。 接続すると誤動作を引き起こすことがあります。
- LKD1000コントローラのMAINボタンとSPOTボタンは、無効です。

アラーム入力とアラーム出力の接続

センサー、ドアスイッチなどのアラーム装置の接続にはアラーム・ターミナルを使用します。

アラーム入力

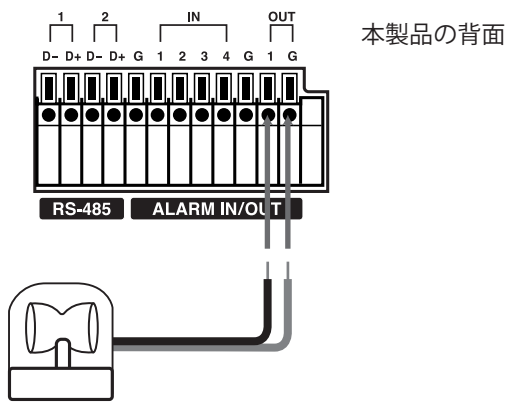
最大4個のアラーム センサーが接続可能です。
各アラーム・センサーはG (GND)に接続してください。
信号状態は設定メニューでN/O (通常開)またはN/C (通常閉) に設定可能です。



ターミナル番号	説明
1	Alarm Input 1
2	Alarm Input 2
3	Alarm Input 3
4	Alarm Input 4
G	Ground

アラーム出力

アラーム デバイスをアラーム出力に接続します。 アラーム信号はイベント発生で出力します。



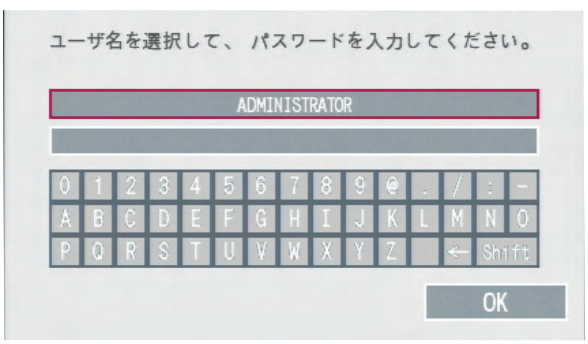
ターミナル番号	説明
1	アラーム出力 1
G	アース

注:

内部切換リレーの定格は125V ACで0.3Aまたは30V DCで1Aです。電流がそれより大きいと、デバイスは損傷することがあります。

本製品の操作

1. 本製品の電源をオンすると、起動します。
   起動中には、LGロゴの画像がメイン・モニタに表示されます。
2. 起動が終わると、ライブ ウィンドウが表示されます。リモコンの矢印キーを用いてユーザIDを選択して[ENTER]を押します。



   - ADMINISTRATOR: 本製品の全ての操作ができます。
   - パワー ユーザ : 本製品の限られた機能を使用できます(セットアップの変更は行えません)。
   - 一般ユーザ : 本製品の限られた機能を使用できます(マルチスクリーン モニタとライブ映像ビューが利用可能です)。
3. 仮想キーボードを用いてパスワードを入力します(初期パスワードは「000000」です)。
4. [OK]ボタンを選択して[ENTER]を押します。
   ライブ・スクリーンを見たり、本製品を操作できます。

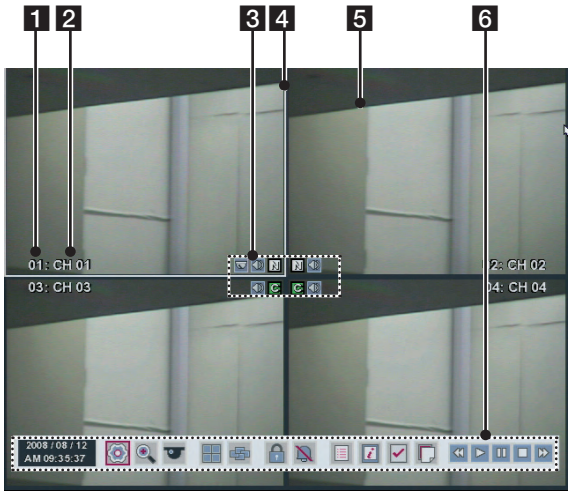
- 本製品は、OSDを使用したVGAモニタをベースにしていますので、VGAモニタの使用を推奨します。コンポジットモニタを使用すると、OSDの読取り品質は低下します。
- ユーザのアクセス権

ユーザ・レベル	Administrator	パワー ユーザ	一般ユーザ
ライブ ビデオを見る	あり	あり	あり
アラーム・オフ	あり	あり	なし
PTZ	あり	あり	なし
インスタント録画	あり	あり	なし
エクスポート	あり	あり	なし
サーチと再生	あり	あり	なし
セットアップ	あり	なし	なし

- 本製品が突然オフされて、再度オンした場合には、起動に時間がかかることがあります。

メイン・モニタのライブ・スクリーンの概要

メイン・モニタ・スクリーン



1 01 **チャンネル番号**
チャンネル番号を表示します。

2 CH 01 **チャンネル名**
編集されたチャンネル名を表示します。

3 カメラ状態のアイコン

- PTZカメラのアイコン
  PTZカメラの状態を表示します。
- 入力オーディオのアイコン
  入力オーディオ状態を表示します。
- 録画状態のアイコン
  録画状態を表示します。
  - 緑の"C"は連続録画を示します。
  - 緑の"I"はインスタント録画を示します。
  - 赤の"S"はセンサー・トリガーの録画を示します。
  - 青の"M"はモーション検出の録画を示します。
  - 白の"N"はそのチャンネルが録画されないことを示します。

4 選択チャンネル
選択されたチャンネルをホワイト ボックスで表示します。

5 ライブ・スクリーン
現在の監視ライブ・スクリーンを表示します。

6 システム制御バー

2008 / 08 / 12 AM 09:35:37	現在の日時を表示

	セットアップ・メニューを表示
	検索メニューを表示
	PTZリモート・コントロール・ウィンドウを表示
	フルスクリーン表示モードでの表示が4分割スクリーンウィンドウに戻ります。
	フルスクリーン表示モードですべてのチャンネルを順次シーケンシャルに表示します。 4分割画面ではこのシーケンスモードは利用できません。
	ユーザ・タイプの変更または、本装置の操作無効のため、ロック・メニューを表示
	アラームをオフ
	システム・ログ・リストのウィンドウを表示
	システム情報のウィンドウを表示
	再生中にマークしたいポイントをクリックします。最大15ポイントをマークできます。
	コピー(エクスポート)メニューを表示。
	スキャン速度を選択
	選択された録画チャンネルでインスタント再生を開始します。 記録されたデータが無いと、警告メッセージが表示されます。
	再生を中断
	再生を終了

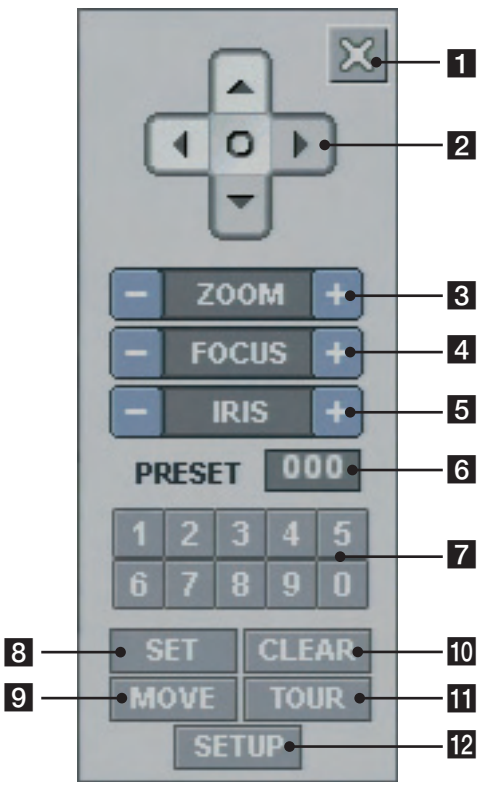
システムコントロールバーを表示/非表示します。

1. OSDを押すか、またはライブスクリーンモードでマウスの右ボタンをクリックします。次に[コントロールバーの On/Off]オプションを選択します。
2. [ENTER]をクリックするかまたは[コントロールバーの On/Off]オプションをクリックすると、システムコントロールバーが表示または非表示されます。

PTZカメラ制御

RS-485ターミナルのデータ・ポートを経て接続するカメラを制御できます。PTZカメラと本製品間の構成をセットしなければなりません。

1. 制御したいメイン・モニタのPTZカメラ・チャンネルを選んでください。
2. PTZを押すか、システム制御バーの アイコンをクリックします。
   仮想PTZリモート・コントロールはメイン・モニタに表示されます。
3. PTZカメラの制御に使用する項目。



	ボタン	機能
1		PTZ仮想リモート・コントロールを削除します。
2		カメラのパン/チルトに使用します。
		プリセット位置を確認します。
3	ZOOM	カメラのズームを調節します。
4	FOCUS	カメラの焦点を手動で調節します。
5	IRIS	カメラの絞りを手動で調節します。
6	PRESET 000	選択したプリセット番号を表示
7	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0	番号ボタン プリセット番号を入力します。
8	SET	カメラのプリセット位置を登録します。
9	MOVE	カメラをプリセット位置に動かします。
10	CLEAR	記憶しているプリセット位置を削除します。
11	TOUR	プリセット・ツアーを開始します。
12	SETUP	PTZカメラのセットアップ・メニューを表示します。

プリセット設定

プリセット位置は、位置番号と関連付けられるカメラ監視位置(プリセット位置)を登録する機能です。
位置番号の入力により、プリセット位置にカメラを移動できます。

注:

この機能を働かせるには、PTZカメラのプリセット位置を登録する必要があります。

プリセット位置の登録方法

1. /// を用いてお望みのポイントにカメラを移動します。
2. SETを押すか、SET アイコンをクリックします。
3. 登録したいプリセット番号を選びます。
4. ENTERを押すか、 アイコンをクリックします。
   位置とその番号は記憶されます。
5. ステップ1~4を繰り返し、位置を追加します。

注:

プリセット番号は、本製品で0から255まで使用できます。しかし、実際のプリセット範囲はPTZカメラにより異なります。

プリセット位置での映像変更

以下の機能はプリセット機能のあるカメラのみに使用できます。
プリセット機能はコンビネーション・カメラをプログラムしたプリセット位置に移動させます。
コンビネーション・カメラ用にあらかじめプリセット位置をプログラムすることが必要です。

1. MOVEボタンを押すか、MOVE アイコンをクリックします。

2. 記憶したプリセット位置のインデックス番号を入力するため番号ボタンを使用し、ENTERを押すか アイコンをクリックします。カメラはプリセット位置に移動し、その位置のカメラの映像がモニタに現われます。

プリセット位置のクリア

記憶したプリセット位置をクリアできます。

1. CLEARボタンを押すか CLEAR アイコンをクリックします。
2. 記憶したプリセット・インデックス番号を入力するのに番号ボタンを使用し、ENTERを押すか アイコンをクリックします。

注:

この機能はPTZカメラにより使用できないことがあります。

プリセット位置をツアーする

プリセットしたすべての位置をツアーできます。

1. TOURボタンを押すか、 TOUR アイコンをクリックします。
   カメラのすべての登録したプリセット位置が選ばれ、カメラの位置の映像は動作しているモニタでオンになります。
2. TOURボタンを押すか、 TOUR アイコンをクリックしてツアーを停止できます。

PTZカメラ用のセットアップ

メニューのそれぞれの項目をセットアップしてカメラを条件に適応させることができます。

1. SETUP アイコンをクリックします。
   設定メニューがメイン・モニタの選択ウィンドウに現われます。
2. / / / と ZOOM 、 のボタンを用いてオプションを設定します。

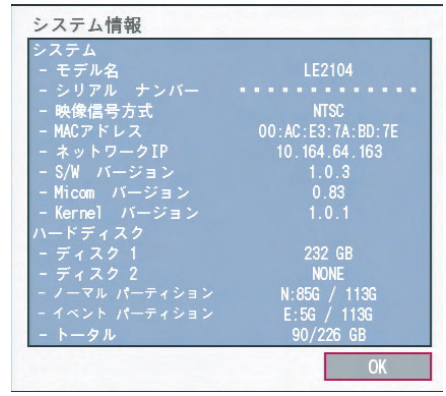
注:

- 詳細はPTZカメラのマニュアルを参照してください。
- 本製品と正常に動作しないPTZカメラもあります。
- PTZ仮想リモート・コントロールを表示しているとき他の機能を制御できません。

システム情報の表示

システム情報を見ることができます。

1. INFOを押すか、システム制御バーの アイコンをクリックします。
   システム情報ウィンドウがメイン・モニタに表示されます。



2. [OK]を選択して[ENTER]を押します、あるいは[OK]ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。

システム・ログ・リストの表示

システム・ログ・リストを見ることができます。

1. LOGを押すか、システム制御バーの アイコンをクリックします。
   システム ログ リストは、メイン モニターへ表示されます。

2. 前か次のログ・リストを見るには◀ / ▶を用います。
3. [OK]を選択して[ENTER]を押します、あるいは[OK]ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。

注:

システム ログ リスト

No.	ログ メッセージ
1	電源オン
2	電源オフ
3	電源リカバリー
4	管理者ログイン（リモート）
5	管理者ログアウト（リモート）
6	パワーユーザ ログイン（リモート）
7	パワーユーザ ログアウト（リモート）
8	一般ユーザ ログイン（リモート）
9	一般ユーザ ログアウト（リモート）
10	管理者ログイン（ローカル）
11	管理者ログアウト（ローカル）
12	パワーユーザ ログイン（ローカル）
13	パワーユーザ ログアウト（ローカル）
14	一般ユーザ ログイン（ローカル）

15	一般ユーザ ログアウト（ローカル）
16	コンフィギュレーション変更
17	コンフィギュレーション インポート
18	出荷時デフォルト設定
19	バックアップ開始
20	バックアップ終了
21	バックアップ失敗
22	エクスポート開始
23	エクスポート終了
24	エクスポート失敗
25	S/W更新
26	HDD追加（HDD1）
27	HDD追加（HDD2）
28	HDD取り外し（HDD1）
29	HDD取り外し（HDD2）
30	HDDフォーマット（HDD1）
31	HDDフォーマット（HDD2）
32	HDD交換（HDD1）
33	HDD交換（HDD2）
34	HDD損傷（HDD1）
35	HDD損傷（HDD2）

記録済みデータをエクスポートします。

本製品では、録画映像を内蔵HDDから外部のデバイスに手動でコピーできます。

1. [コピー]を押すか、またはシステムコントロールバーの アイコンをクリックします。
   エクスポート・メニューのウィンドウが現われます。

2. [ターゲット装置]を選択してから、[ENTER]を押します。
3. ◀/▶ を使用して、エクスポートする対象のデバイスを選択します。
4. [ENTER]を押して確定します。
5. チャンネル番号を選択して、[ENTER]を押します。 このステップを繰り返して、マルチチャンネルを選択します。
6. [スタート日付/時間]と[エンド日付/時間]を設定してコピーします。
   - ◀/▶/▲/▼: オプションに移動します。
   - ◀/▶: 選択したオプションを設定します。
   - ENTER: オプションを選択、または設定を確定します。
7. [エクスポート]アイコンを選択して[ENTER]を押すと、エクスポートを開始します。
   エクスポートしたデータは、専用ソフトでのみ再生できます。

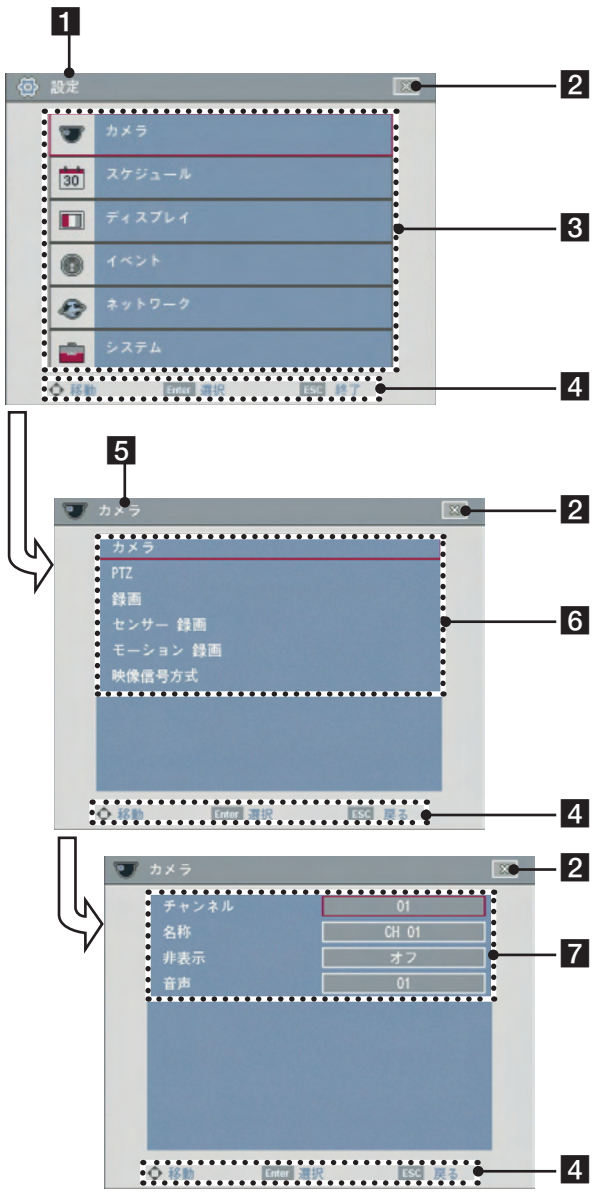
注:

- エクスポート機能用に前面パネルのCOPYボタンも使用できます。
- 操作を続ける前にエクスポート・デバイスをチェックします。
- ライブ モードの時だけ、録画データをエクスポートできます。
- 外付けUSBメモリ デバイスを使用する場合は、本製品でそのデバイスをフォーマットしてください。
  1. USBメモリデバイスを本製品の前面または背面のUSBポートに接続します。
  2. [消去]アイコンを選択して[ENTER]を押します。 フォーマットが完了すると、ウィンドウが表示されます。
  3. [OK]を選択して[ENTER]を押しウィンドウを閉じます。
- 選択されたデータと外付けデバイスのフリー スペースのサイズを確認します。 デバイスに十分なスペースが無い場合、そのデバイスのデータを消去してください。
  1. [推定]アイコンを選択して[ENTER]を押します。 選択されたデータとフリースペースのサイズが表示されます。
  2. [OK]を選択して[ENTER]を押し、ウィンドウを閉じます。
- エクスポートはバックアップ中に実行できません。
- 付属視聴ソフトウェアでエクスポートしたデータを検索できます。
- 録画データをエクスポートする場合は、音声データもエクスポートされます。
- 録画データをエクスポートする場合、エクスポート ビューアーもデバイスの[ExportViewer]フォルダーにエクスポートされます。このとき、エクスポートされるデータのファイル名は、自動的に[Channel name_export date_export time.exp]のようになります。
- エクスポート中はUSBデバイスを取り外さないでください。機能不全の原因になることがあります。外したデバイスを再使用する場合、そのメディアを消去メディア・オプションによりフォーマットしなければなりません。
- 下記の場合に、警告メッセージが現われます。
  - 開始日/時刻と終了日/時刻が同じである時。
  - 開始日/時刻が終了日/時刻より遅い時。
  - エクスポートするメディアに十分なスペースがない時。
  - データがない時刻を設定する時。
- 外部メディアは、機能不全を避けるため、本製品でフォーマットしてください。
- DVD+RWとDVD-RWディスクを使用する前に初期化してください。
- [消去]オプションを用いて、外付けメディアをフォーマットできます。

コンフィギュレーション メニュー

本製品の機能とオプションはメニューにより構成されます。本製品の動作は、メイン・モニタに表示されるメニューにより、セットできます。
前面パネルのボタンとリモコンを用いて、あるいは装置に接続されているマウスを用いて、運用条件を選択、設定できます。

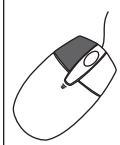
設定メニューにアクセスして、本製品のコンフィギュレーションの設定ができるのは、管理者レベルのユーザのみです。



1 メイン メニューのタイトルを表示します。
2 前のメニューに戻るか、または設定メニューを閉じます。
3 メイン メニューを表示します。
4 ヘルプ メニューを表示します。
5 選択されたサブメニューのタイトルを表示します。
6 サブメニュー オプションを表示します。
7 選択されたサブメニューに対する詳細なオプションを表示します。

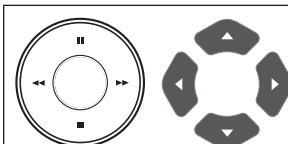
マウスを用いたメニューの設定

マウスの左右のボタンを用いて、メニューを設定します。

ボタン		機能
	左ボタン	• 必要な項目を選択するため、またはオプション値を下げるために使用します。 • ボタンをダブルクリックすると、フルスクリーン上で選択したチャンネルを見ることができます。
	右のボタン	• オプション値を上げるために使用します。 • ライブ スクリーン モードでサブ セットアップ メニューを表示します。

1. マウスの左ボタンでオンスクリーン表示の下側にあるアイコン をクリックすると、設定メニューが表示されます。
2. 第2または第3レベルに移動するため左マウス・ボタンで希望のオプションをクリックします。
3. 左マウス・ボタンで希望のオプションをクリックします。
4. 選択したオプション値をセットします。
5. アイコン、 を何度かクリックして、セットアップ メニューを閉じます。保存メッセージが現われたら、左マウス・ボタンで をクリックし設定を保存します。

前面パネルのボタンをまたはリモコンのボタンを用いてメニューの設定

	メニュー・オプションの選択またはオプション値の調節のため矢印ボタンを使用します。
	オプションの選択または設定の確認をします。
	前のメニューまたはレベルに戻ります。

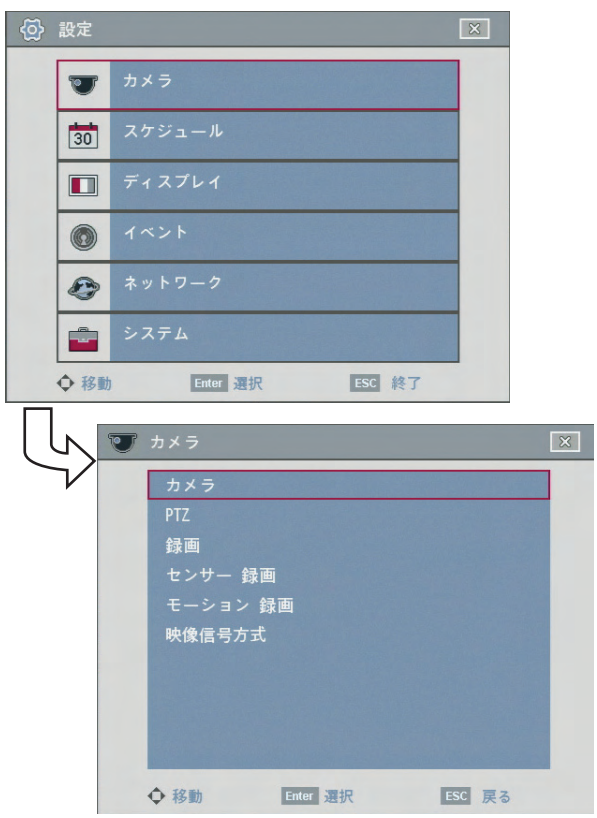
1. SETUP/ESCを押してセットアップ・メニューを表示します。
2. ▲ / ▼ を用いて希望するメニュー項目を選択し、次に[ENTER]を押してサブメニューを表示します。

3. ▲ / ▼ を用いて希望するメニュー項目を選択し、次に[ENTER]を押して設定オプションを表示します。
4. ▲ / ▼ を用いて希望するオプションを選択し、次に[ENTER]を押して値を設定します。
5. ◄ / ► を用いて希望する設定を選択し、次に[ENTER]を押して選択した設定を確定します。
6. [SETUP]/[ESC]を何度か繰り返して押して、設定メニューを閉じます。 保存メッセージが表示されたら[OK]を選択して、[ENTER]を押して設定を保存します。

注:

- リモコンと前面パネルのボタンを用いて機能メニューを動作させると、両方のボタンは同じ動作をし、機能メニューを制御します。
- **動作のすべての説明はリモコンの使用を基準としています。**

カメラの設定



カメラ

チャンネル名、カメラ非表示および入力音声・チャンネルの設定を構成します。

- チャンネル： オプションを設定する対象であるチャンネルを選択します。
- 名称: チャンネル名を12文字以内で入力してください。
  - ◄/►/▲/▼: コラムを動かすために[OK]あるいは[取消]ボタンを使用します。 キャラクタを選択します。
  - ENTER: 選択を確認します。
  - [OK]を選択してから、[ENTER]を押してチャンネル名を保存します。
  - [取消]を選択してから、[ENTER]を押してバーチャル キーボード メニューを閉じます。
- 非表示: 他のユーザから見えないようにカメラの状態を設定できます。非表示オプションをオンに設定すると、POWERユーザまたはNORMALユーザのライブ・ウィンドウには、「LG logo」というテキストが表示されます。
- 音声： 音声入力を指定されたカメラ入力に接続できます。

PTZ

RS-485ターミナルのデータ・ポートを経て接続したPTZカメラの設定。

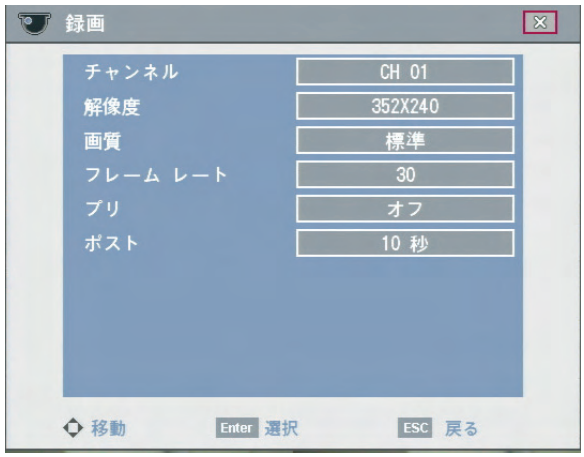
- チャンネル : 希望のチャンネルを選び接続したPTZカメラをセットします。
- ポート : 背面パネルのRS-485ターミナルの接続データ・ポートを選びます。**D2 (DATA 2)** ポートは、本製品に接続されたPTZカメラの制御やLKD1000コントローラを用いて制御するために使用します。**D2 (DATA 2)**ポート経由でPTZカメラを使用するには、システム設定メニューでDVR IDを「0(ゼロ)」に設定してください。

  LKD1000 コントローラを使用する場合、**D2(DATA 2)** ポート経由で本製品を制御するには、システム設定メニューでDVR ID番号(1～16)を設定してください。

- コントロールID : PTZカメラIDを0から255から選びます。PTZカメラと同じ設定であるか確認します。
- プロトコル : PTZカメラがサポートすプロトコルを選びます。
  PTZカメラのリストは、61ページを参照してください。
- ボーレート : 通信速度を選びます(1200, 2400, 4800, 9600, 19200) 。

録画

通常の録画に関する設定。



- チャンネル： オプションを設定する対象であるチャンネルを選択します。
- 解像度: 録画解像度を選びます
- 画質 : 録画品質を選びます。(ロング、ロー、標準、ハイ、最高)
- フレームレート : フレーム・レートを選びます。フレーム・レートはフレーム数/秒です。解像度によりフレーム・レートは自動的にセットされます。手動でセットする場合、下表を参照してください。

解像度		フレーム・レート
NTSC	352*240	1, 3, 5, 7.5, 15, 20, 30
	704*240	1, 3, 5, 7.5, 15
	704*480	1, 3, 5, 7.5
PAL	352*288	1, 3, 5, 6, 12.5, 20, 25
	704*288	1, 3, 5, 6, 12.5
	704*576	1, 3, 5, 6

- プリ: センサー・アラーム信号が入るかモーションを検出するまで状態を録画するプレイベント録画時間を指定します。(オフ、5、10、20、30、40、50、60 秒)。
- ポスト: センサー・アラーム信号が入るかモーションを検出するまで状態を録画するポストイベント録画時間を指定します。(10、20、30、40、50 秒または1、2、3、5、10 分)。

注:

プリアラーム オプションとポストアラーム オプションの設定値が、そのままセンサー録画とモーション録画機能に関する設定としても使用されます。

センサー録画

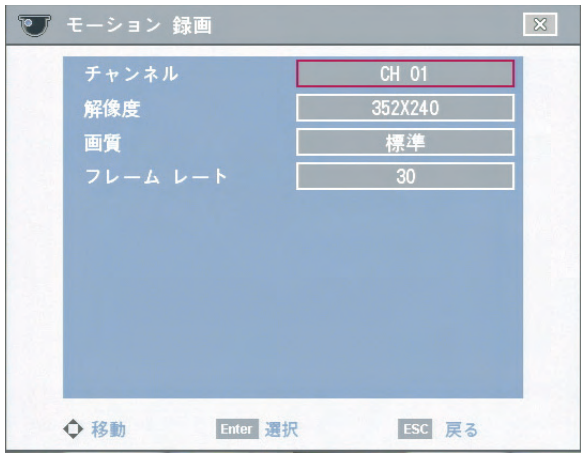
センサーの録画に関する設定。

- チャンネル： オプションを設定する対象であるチャンネルを選択します。
- 解像度: 録画解像度を選びます
- 画質 : 録画品質を選びます。(ロング、ロー、標準、ハイ、最高)
- フレームレート : フレーム・レートを選びます。フレーム・レートはフレーム数/秒です。解像度によりフレーム・レートは自動的にセットされます。手動でセットする場合、下表を参照してください。

解像度		フレーム・レート
NTSC	352*240	1, 3, 5, 7.5, 15, 20, 30
	704*240	1, 3, 5, 7.5, 15
	704*480	1, 3, 5, 7.5
PAL	352*288	1, 3, 5, 6, 12.5, 20, 25
	704*288	1, 3, 5, 6, 12.5
	704*576	1, 3, 5, 6

モーション録画

モーションの録画に関する設定。



- チャンネル： オプションを設定する対象であるチャンネルを選択します。
- 解像度: 録画解像度を選びます
- 画質 : 録画品質を選びます。(ロング、ロー、標準、ハイ、最高)
- フレームレート : フレーム・レートを選びます。フレーム・レートはフレーム数/秒です。解像度によりフレーム・レートは自動的にセットされます。手動でセットする場合、下表を参照してください。

解像度		フレーム・レート
NTSC	352*240	1, 3, 5, 7.5, 15, 20, 30
	704*240	1, 3, 5, 7.5, 15
	704*480	1, 3, 5, 7.5
PAL	352*288	1, 3, 5, 6, 12.5, 20, 25
	704*288	1, 3, 5, 6, 12.5
	704*576	1, 3, 5, 6

映像信号方式

ビデオ・システムのフォーマットに従い、NTSC方式または、PAL方式のフォーマットを設定します。

1. 映像信号方式(NTSC/PAL)を選択します。
2. を選択して[ENTER]を押すと、確認のメッセージが表示されます。
3. [OK]アイコンを選択して[ENTER]を押すと、HDDのフォーマットを開始します。
4. HDDのフォーマット完了後、確認メッセージが表示されます。[OK]アイコンを選択して[ENTER]を押すと、装置が再起動します。

注:

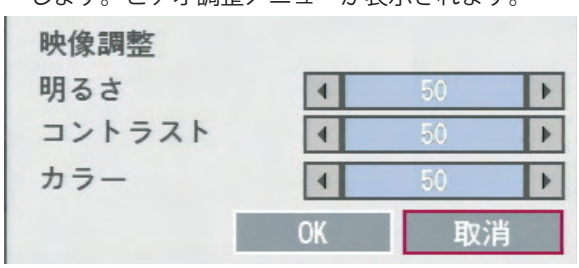
・ビデオフォーマットの変更に際しては、全てのカメラの接続を外してから行ってください。

・ビデオフォーマットを変更すると、既に記録された映像データは全て消去されますので、必要なデータは予め記録媒体に保存してください。

映像調整

各カメラ映像の明るさ、コントラストおよび、カラーを調整します。

1. OSDを押す、またはマウスの右ボタンをクリックして、サブ設定メニューを表示します。
2. [映像調整]オプションを選択してから、[ENTER]を押します。ビデオ調整メニューが表示されます。



3. 希望するオプションを選択して[ENTER]を押します。
4. ◀/▶ を用いて値を調整します。
   - 明るさ : 選択チャンネルの明るさの値を01から100に合わせてください。
   - コントラスト : 選択チャンネルのコントラスト値を01から100に合わせてください。
   - カラー : 選択チャンネルのカラー値を01から100に合わせてください。
5. [OK]アイコンを選択してから、[ENTER]を押して設定を確定します。
6. [終了]を選択してから、[ENTER]を押してサブ設定メニューを閉じます。

注:

この機能は、スポット アウト チャンネルに対しては動作しません。

スケジュールの設定

本製品は、設定されたスケジュールで録画を行います。また、日時に関係なく手動で録画できます。録画は連続して、またはイベントによるトリガーで行えます (アラームとモーションの検出)。

録画スケジュールスクリーンには、選択した日付のスケジュールが表示されますが、これはすべてのチャンネルに対する24時間分のスケジュールです。

各1時間セル・ブロック用に録画方法を選択できます。各ブロックに対する録画方法は、見やすいようにカラーで示されています。

週間の1日録画スケジュールの設定

1. 週の1日を選びます。
   録画スケジュール スクリーンが表示されます。

2. 希望のチャンネルを選び録画をスケジュールします。
3. 開始時間のタイム セル ブロックを選択して、[ENTER]を押します。

4. ◀/▶ を使用する、またはマウスの左ボタンをクリックして録画モードを選択します。セル・ブロックのカラーは、自動的に変わります。
   - 灰色: 録画スケジュール無し
   - 緑 (連続録画): プリセット時間に自動的に録画を開始。
   - 赤 (センサーのイベント録画): センサー・アラームが指定時刻前に発生すると自動的に録画を開始。
   - 青 (モーションのイベント録画): 指定時刻内に、モーションを検出すると自動的に録画を開始。
   - 黄 (センサー+モーション録画): センサー・アラーム信号の入力があると、またはモーションが検出されると、自動的に録画を開始。
   - 緑＋赤 （連続＋センサ イベント録画）： 録画は、プリセットされた時刻から自動的に始まります。指定された時間以内にセンサ アラームが起こると、連続録画モードがセンサ イベント録画モードに変わり、録画が自動的に始まります。
   - 緑＋青 （連続＋モーション イベント録画）： 録画は、プリセットされた時刻から自動的に始まります。指定された時間以内にモーションが検知されると、連続録画モードがモーション イベント録画モードに変わり、録画が自動的に始まります。
   - 緑＋黄 （連続＋センサ＋モーション イベント録画）： 録画は、プリセットされた時刻から自動的に始まります。センサ アラーム信号が入力されると、またはモーションが検知されると、連続録画モードがモーション イベント録画モードに変わり、録画が自動的に始まります。
5. スケジュール時間を確定するために、スケジュール タイム セル ブロックの次のタイム セル ブロックを選択して、次に[ENTER]を押します。
6. ◀/▶ を使用する、またはマウスの左ボタンを繰り返しクリックして、スケジュールの終わりの時間を設定するためにグレイを選択する。設定セル ブロックがハイライトされます。

7. SETUP/ESCを押して前のメニューに移動します。保存メッセージが表示されたら[OK]を選択して、[ENTER]を押して設定を保存します。
8. [設定]/[ESC]を何度か繰り返して押して、設定メニューを閉じます。

特別設定日の録画スケジュールの設定

週間スケジュールに加えて、最大10の特別設定日/時間を設定できます。特別な録画スケジュールを設定するには特別設定日付を選びます。

1. [特別設定日]オプションを選びます。
2. アイコン、[追加]を選択します。個別のデータ選択メニューが表示されます。

3. 年月日を入力します。
   - ◀/▶/▲/▼: 押してコラムを移動します。
   - ◀ / ▶ (または左右マウス・ボタン): 現在位置の値を変更します。
   - ENTER: 選択した入力を確定します。
4. ◀/▶/▲/▼ を用い[OK]ボタンを選び、[ENTER]を押します。
   仮想キーボード・メニューが現われます。
5. 特別設定日の名前を入力します。▲/▼/◀/▶ 用いて文字を選び、[ENTER]を押して選択を確認します。
6. ▲ / ▼ を使用して[OK]ボタンを選択し、次に[ENTER]を押して特別な日の日付を確定します。そして特別日録画スケジュール スクリーンに戻ります。
7. スケジュール時間を選択して、各チャンネルに対して録画方法を設定します。
8. SETUP/ESCを押して前のメニューに移動します。
   保存メッセージが表示されたら[OK]を選択して、[ENTER]を押して設定を保存します。
9. [SETUP]/[ESC]を何度か繰り返して押して、設定メニューを閉じます。

特別設定日のスケジュール・リストのチェック

1. [特別設定日]オプションを選びます。
2. アイコン、[リスト]を選択します。
   特別設定日のスケジュール・リストが現われます。

3. リストの特別設定日のタイトルを選び、[ENTER]を押します。
   タイトルの色が赤に変わります。
4. [編集]を選択して、[ENTER]を押して特別日を編集します、または[削除]を選択して特別日のスケジュールを削除します。
5. SETUP/ESCを押して特別設定日のスケジュール・リストを終了します。

注:

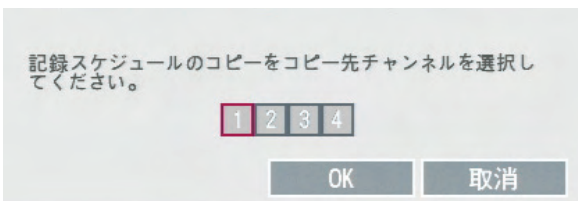
特別設定日の録画スケジュールが他の録画と重複していた場合、特別設定日の録画のみ有効です。

録画スケジュールのコピー

チャンネルのスケジュール・データからコピー

チャンネルのスケジュール・データを週の選択日内の他のチャンネルにコピーできます。

1. 週の日を選び、[ENTER]を押します。
2. コピーしたいチャンネルを選択して、[ENTER]を押します。
3. アイコン、[Chのコピー]を選択して、[ENTER]を押します。チャンネル選択メニューが表示されます。

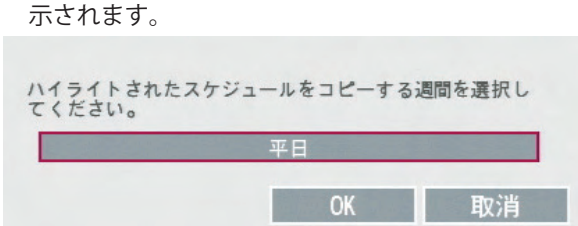


4. ◀ / ▶ を用いて左右どちらかの欄に移動し、ENTERを押してターゲットのチャンネルを選びます。ENTERを押して選択チャンネルを取り消せます。
5. ▲ / ▼ を用いて [OK]を選び、[ENTER]を押して選択を確認します。

一日のスケジュール・データからコピー

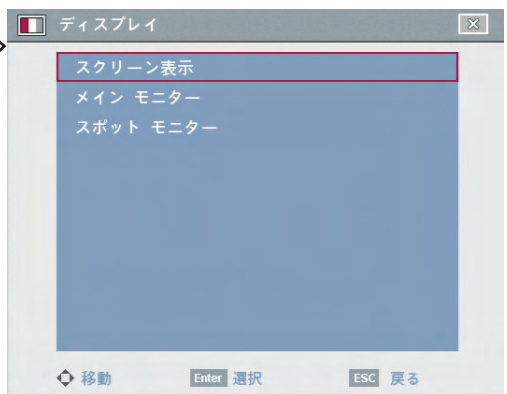
その週のスケジュールされた日を、その週の別の日、平日、週末にコピーできます。

1. コピーしたい曜日を選択して、[ENTER]を押します。
2. アイコン、[日付のコピー]を選択して、[ENTER]を押します。選択された日(複数日も可)のメニューが表示されます。

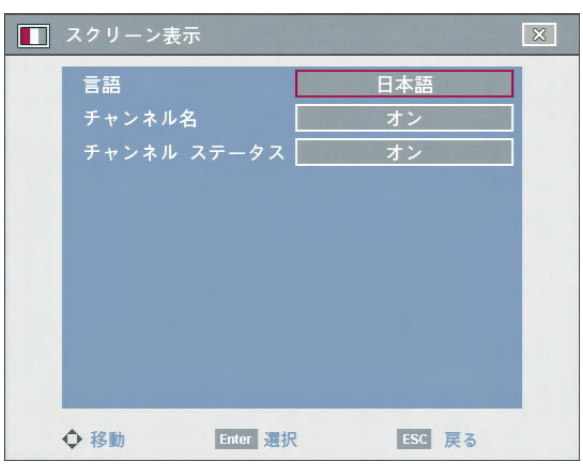


3. ◀ / ▶ を用いてターゲットの日を選びます。
4. ▲ / ▼ を用いて [OK] を選び、[ENTER]を押して選択を確認をします。

ディスプレイの設定



スクリーン表示



- 言語 : アップ・メニューと情報表示の言語を選びます。
- チャンネル名
  - オン : チャンネルのタイトルを表示します。
  - オフ : チャンネルのタイトルなしでライブ映像を表示します。
- チャンネル ステータス
  - オン : 現在のチャンネル録画状態が表示されます。
  - オフ : 現在のチャンネル録画状態をオフにします。

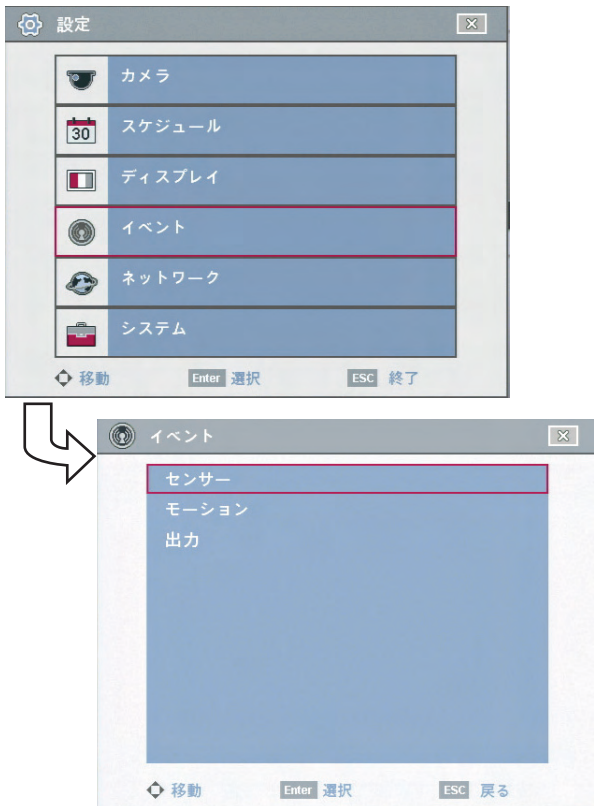
メイン モニター

- 表示時間 : チャンネル・シーケンス時間を 2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、40秒、50秒、60秒, 70秒、80秒、90秒。

スポット モニター

- 表示時間 : チャンネル・シーケンス時間を2秒、5秒、10秒、20秒、30秒、40秒、50秒、60秒、70秒、80秒、90秒、。
- イベント ポップアップ : モーション、センサーまたはすべて(モーションまたはセンサー)のイベントが発生すると、イベント・ポップアップをスポット・モニタに表示します。
- スポットチャンネル： 希望するスポット チャンネルを選択します。

イベント設定



センサー

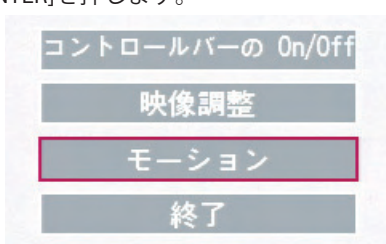
- 入力チャンネル： [ALARM-IN]ターミナルの番号を選択します。
- センサー タイプ: センサの状態は、N.O. (ノーマル オープン) あるいはN.C. (ノーマル クローズ)のいずれかに設定できます。
- カメラ : ALARM-INターミナルに接続されたカメラのチャンネルを選びます。
- リレー出力：
  - オン: [RELAY-OUT]ターミナル経由でアラーム(リレー)信号を出力します。
  - オフ: 使用しない。

モーション

- チャンネル : モーション検出を設定するチャンネルを選びます。
- 感度 : 作成したモーションの検出領域用の感度を設定します。感度設定は、レベル01～10またはNONEから設定可能です。
- リレー出力：
  - オン: [RELAY-OUT]ターミナル経由でアラーム(リレー)信号を出力します。
  - オフ: 使用しない。

注:

- 照明が暗く、被写体の輪郭が不鮮明で見ることができない条件では、感度に関わりなく、モーション イベントが起こらないことがあり得ます。設定に先立ち、モーション イベントを確認してください。
- モーション エリアの設定
  1. ライブ スクリーン モードで希望するチャンネルを選択します。
  2. OSDを押す、またはマウスの右ボタンをクリックして、サブ設定メニューを表示します。
  3. [モーション]オプションを選択してから、[ENTER]を押します。



  4. 選択されたチャンネルウィンドウ スクリーン上で希望するモーション検出エリアを選択します。
     - **リモコンの使用**
       - ◀/▶/▲/▼: セル ボックスを別のセル ゾーンに移動します。
       - ENTER: 現在のセル位置のモーション検出領域の選択または取消し。
     - **マウスの使用**
       - 領域の選択: セルを右方向へドラッグ・アンド・ドロップしてモーション検出領域を選びます。
       - 領域の取消し: 選択したセル領域のセルポイントを左方向へドラッグ・アンド・ド

ロップしてモーション検出領域を取り消します。

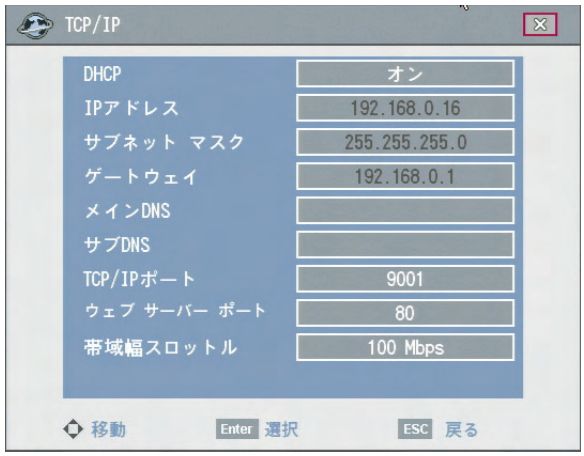
5. マウスの右ボタンをクリックして設定を終了します。
6. [終了]を選択してから、[ENTER]を押してサブ設定メニューを閉じます。

出力

- リレー オフ
  - アラーム確認: ALM.OFFを用いてアラームを停止します。
  - ポスト アラーム時間: このポスト アラーム時間が経過した後に、アラームが停止されます。

ネットワークの設定

TCP/IP

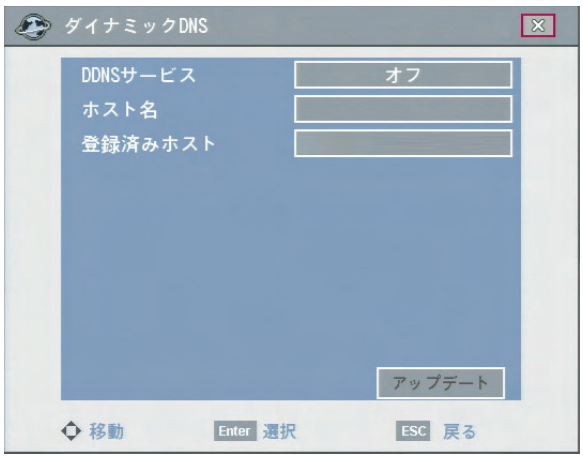


- DHCP: DHCPはダイナミック・ホスト構成プロトコルを意味します。
  - オン : 本製品のネットワーク設定は、DHCPサーバーから自動的に構成されます。
    ダイナミックIPアドレスの代わりに、DDNS機能を使用できます(詳細に関しては、DDNSの設定を参照してください)。
    [オン]に設定すると。[IPアドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイ]、[メインDNS]、[サブDNS]の各オプションは入力できません。
  - オフ : ネットワーク設定を手動で入力します。
- IPアドレス : 仮想キーボードを用いてIPアドレスを入力します。
- サブネット マスク : 仮想キーボードを用いてサブネット・マスク・アドレスを入力します。
- ゲートウェイ : 仮想キーボードを用いてゲートェイ・アドレスを入力します。
- メインDNS : 仮想キーボードを用いてメインDNSサーバー・アドレスを入力します。
- サブDNS : 仮想キーボードを用いてサブDNSサーバー・アドレスを入力します。
- TCP/IPポート: 仮想キーボードを用いてTCP/IP ポート番号を入力します。PCのクライアント・プログラムを用いて、ネットワーク上の監視映像をライブで監視できます。工場出荷時のTCP/IPポートは9001です。
  機密保護等のため、ポート番号を変更することができます(1025~65535)。
- ウェブ サーバー ポート: 仮想キーボードを用いてウェブ・サーバー・ポート番号を入力します。ウェブ・ブラウザでネットワーク上の監視ライブ映像を見ることができます。
  通常HTTPで使用されるTCPポートは80です。
  機密保護等のため、ポート番号を変更することができます (80または1025~65535)。
- 帯域幅スロットル: バンド幅を選択してデータ トラフィックを調整します。

注:

TCP/IPポートやウェブ サーバー ポートの番号を変更すると、PCクライアント プログラムやウェブ ブラウザーとの接続はすべて切断されます。

DDNS (ダイナミック・ドメイン・ネーム・システム)



- DDNS サービス:
  - オン： DDNS機能を利用可能にします。
    この無料サービスは、LGのDDNSサーバーと組み合わせると大変便利になります。これにより、インターネット ユーザは、IPアドレスではなくホスト名を使用してLGのDDNSサーバーに接続できます。また、ダイナミックIPアドレスを持つことの不便さも解消できます。ダイナミックIPアドレスを使用していると、インターネットに接続するたびにIPアドレスが変わります。これでは接続しにくくなります。
  - オフ: DDNS機能は使用されません。
- ホスト名: バーチャル キーボードを使用して、自分が使いたいホスト名を入力します。
- 登録済みホスト: 登録したそのホスト名が表示されます。
- アップデート: [ホスト名]に入力したホスト名を、LGのDDNSサーバーに登録します。

注:

この機能を使用する前に、ネットワークの設定を確認してください。
ネットワークの設定を適切に構築する必要があります。

DDNSホスト名の登録方法

DDNS機能を利用すると、本製品を容易に使用することができます。

初めてDDNS機能を使用するときには

1. 設定メニューを表示します。
2. [ネットワーク]を選択後に、[ダイナミックDNS]オプションを選択します([ネットワーク] > [ダイナミックDNS])。
3. [DDNS サービス]で、[オン]を設定します。
4. [ホスト名]オプションにホスト名を入力します。
5. [アップデート]アイコンを選択して[ENTER]を押します。
   ホストへの登録が完了すると、[登録済みホスト]オプションにホスト名が表示されます。

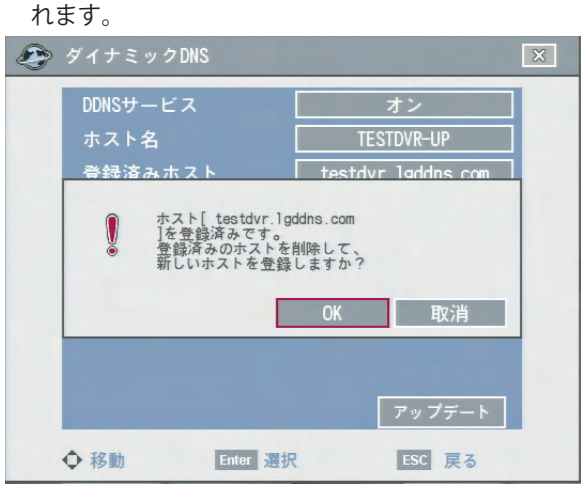
注:

[アップデート]後にホスト名が登録されない場合は、ネットワーク接続を確認してください。

DDNSホスト名を変更する場合

登録済みのホスト名を新しい名前に変更する場合には、次に示すようにします。

1. [ホスト名]オプションに新しいホスト名を入力します。
2. [アップデート]アイコンを選択して[ENTER]を押します。
   ホスト名を変更するための確認ウィンドウが表示されます。



3. [OK]ボタンを選択して[ENTER]を押します。
   ホスト名が正しく変更されると、変更されたそのホスト名が[登録済みホスト]に表示されます。

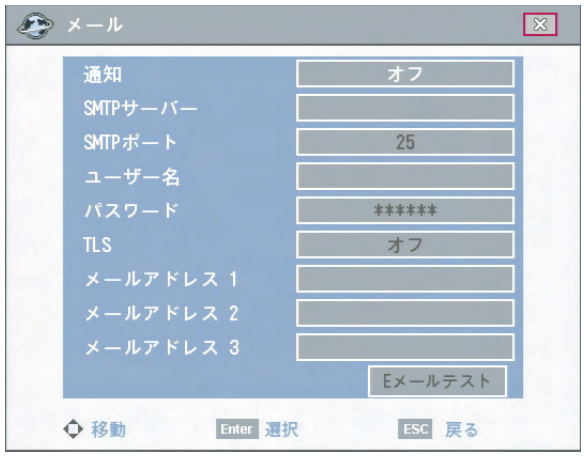
注:

更新後にホスト名が登録されない場合は、ネットワーク接続を確認してください。

通知

- センサー オン :
  - オン : センサーが機能したとき電子メールを送ります。
  - オフ : 使用しない
- モーション検出:
  - オン : モーション検出がなされたとき電子メールを送ります。
  - オフ : 使用しない
- ディスク フル :
  - オン : HDD録画が一杯になったとき電子メールを送ります。
  - オフ : 使用しない
- Adminパスワードの変更:
  - オン : Adminパスワードを変更したときに電子メールを送ります。
  - オフ : 使用しない
- ビデオ ロス :
  - オン : カメラからの映像信号がカメラのコードの切断か機能不全のため停止した場合に電子メールを送ります。
  - オフ : 使用しない
- 電源オン/オフ :
  - オン: パワーがオンされると電子メールを送ります。
  - オフ : 使用しない。

メール



- 通知
  - オン : 装置の動作情報を電子メールでユーザに通知します。
  - オフ : 通知機能を使用しません。
    メール オプションの設定はできません。
- SMTPサーバー : 仮想キーボードを用いてSMTPサーバー・アドレスを入力します。
  通知がオンで、SMTPサーバーに何も設定しないと、SMTPポート、ユーザ名、パスワード、TLSの各オプションは入力できません。
- SMTPポート: 仮想キーボードを用いてSMTPポート番号を入力します。
  通常SMTPで使用されるポート番号は25です。
  機密保護等のため、ポート番号を変更することができます(1 ~ 65535)。
- ユーザー名 : 仮想キーボードを用いてユーザ名を入力します
- パスワード : 仮想キーボードを用いてパスワードを入力します
- TLS: TLS (Transport Layer Security) 機能を使用するときは、ONに設定します。デフォルトでは、TLSはOFFです。
- メールアドレス (1-3) : 仮想キーボードを用いてメールアドレスを入力します**(最大23文字です)**。
  最大3つのメールアドレスを入力できます。
- Eメール テスト : 電子メールの送信試験を行います。

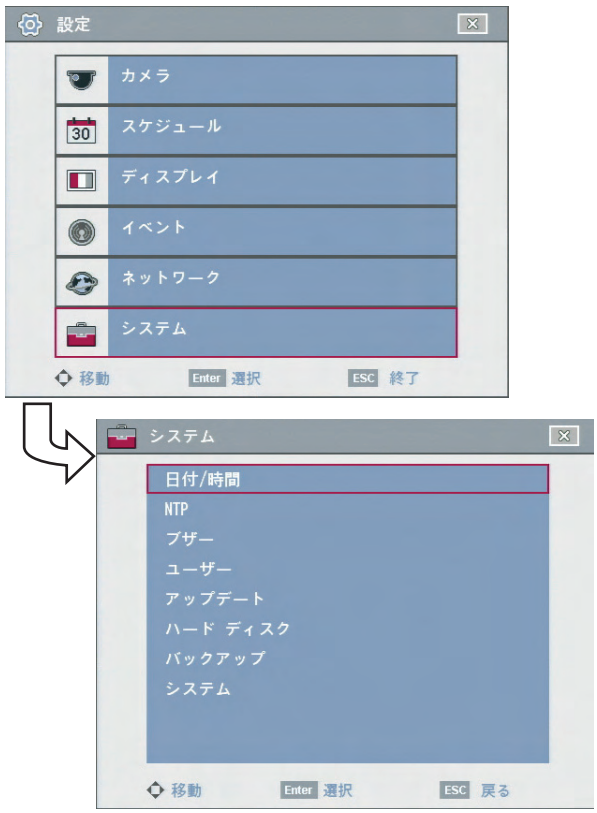
注:

SMTPサーバー、SMTPポート番号、ユーザ名またはパスワード設定はオプションです。本製品は、SMTPサーバーまたはMTA(メッセージ転送代行)を設定せずに直接電子メールを送れますが、電子メールを受信できない場合は、SMTPサーバーを使用してください。
SMTPサーバーのセットアップの詳細は、ネットワーク管理者または、メール・サービスのプロバイダにお尋ねください。

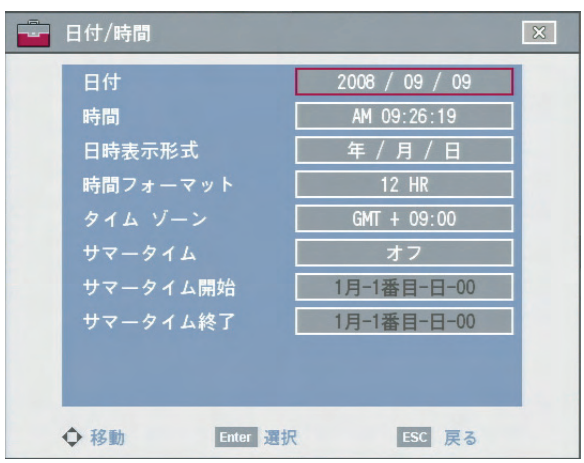
緊急通報

- 通知:
  - オン : 装置の動作情報を緊急エージェント プログラムへ通知します。
  - オフ : 通知機能は使用されません。
    オフに設定すると、緊急ID、IPアドレス、ポートの各オプションは入力できません。
- 緊急ID: 緊急エージェント プログラムの緊急IDを選択します。
- IPアドレス： バーチャル キーボードを利用して、緊急エージェント プログラムのIPアドレスを入力します。
- ポート： バーチャル キーボードを利用して、緊急エージェント プログラムのポート番号を入力します。 この機能のための工場初期ポートは9002です。機密保護等のため、ポート番号を変更することができます(1025～65535)。
  最大9個のIP/ポート番号を設定できます。

システムの設定



日付/時間



- 日付 : 現在の日付を入力します。
- 時間 : 現在時刻を入力します。(24 HR または 12 HR)
- 日時表示形式 : 日付表示フォーマットを選びます。
- 時間フォーマット: 時刻表示フォーマットを選択します。
- タイムゾーン : 時間帯を選びます
  (詳細に関しては、62ページのタイムゾーン テーブルを参照してください)。
- サマー タイム : サマー タイム調整機能を使用する時はオンに設定します。

- サマータイム開始: 夏時間開始の時間を選択します。
- サマータイム終了: 夏時間終了の時間を選択します。

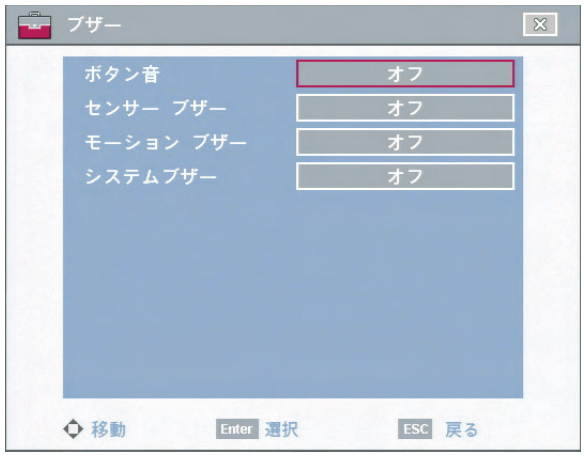
注意:

時刻設定を変更すると、警告メッセージが表示されます。例えば、10分だけ時刻を遅らせると重複している10分間のデータは削除されます。

NTP(ネットワーク・タイム・プロトコル)

- NTP: 自動で時刻調整を行う場合、オンに設定します。オフに設定した場合、時刻は手動で設定してください。
  また、[サーバー]、[プライベート タイム サーバー]、[NTP同期間隔]、[NTPテスト]の各オプションは入力できません。
- サーバー: タイム サーバーを選択します。
  通常は「パブリック サーバー」を選択します。
  本製品は、5つの公共サーバー (time.nist.gov、time-a.nist.gov、time-b.nist.gov、ntp.nasa.gov、clock.isc.org)の平均時間を得ます。
- プライベート タイムサーバー : 仮想キーボードを用いてプライベート・タイム・サーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
- NTP同期間隔 : NTPタイム・サーバーとの同期間隔を1日、1時間、1か月および1週間に設定できます。
- NTPテスト : NTPサーバーとの試験を行います。

ブザー



- ボタン音
  - オン : ボタンを使用するとビープ音が鳴ります。
  - オフ : ボタンによるビープ音は鳴りません。
- センサー ブザー
  - オン : センサーが感知するとブザーが鳴ります。
  - オフ : センサー感知によるブザーは鳴りません。
- モーション ブザー
  - オン : モーションを検出するとブザーが鳴ります。
  - オフ : モーション検出 によるブザーは鳴りません。
- システム ブザー
  - オン: HDDに壊れたセクターがあると、ブザーが鳴ります。
  - オフ: ブザーは鳴りません。

注:

本製品では、センサーとモーション ブザーは低音をだします。 大きな音を鳴らす場合、RELAY-OUTターミナルに外部警報デバイスを接続してください(例えば、サイレン)。

ユーザー

本製品あるいはクライアント プログラムには、様々なアクセス権を持つ新規ユーザを登録できます。

- 番号: 新規ユーザIDを追加するために、あるいはユーザIDやユーザレベル、パスワードを変更するために数字を選択します。
- ID: バーチャル キーボードから新規ユーザのIDを入力します。
- レベル: 新規ユーザのレベルを選択します。
- パスワード: バーチャル キーボードを使用して、ユーザのパスワードを入力するか変更します。英数字と特別な文字をパスワードに使用できます（最短4文字、最長8文字）。

注:

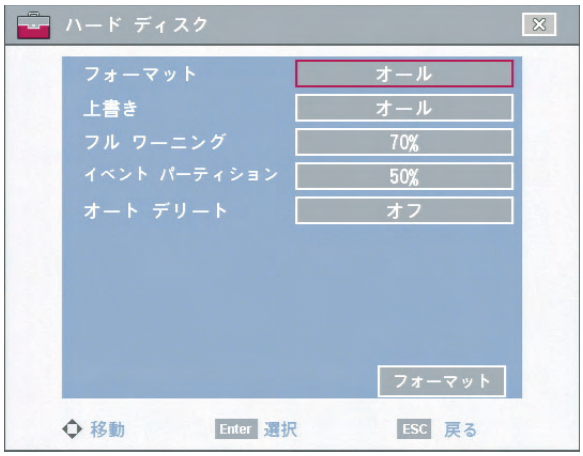
パスワードは忘れないでください。

アップデート

アップデートすることにより、本製品のソフトウェアのアップグレードやPTZプロトコルの追加/アップグレードができます。この場合、アップデート中に現在の設定の削除や変更を行いません。

1. 次の中から1つを選んでください。
   - システム ソフトウェアをアップグレードするためのシステム ソフトウェア
   - プロトコルをアップデートするためのPTZプロトコル
2. アップデートで使用するメディアを選択してください。
   - USB経由: USB経由を選択し、そのUSBドライブを本製品に挿入します(USBドライブを使用する前に、全てのUSBデバイスは外しておくこと)。
   - ネットワーク経由: ネットワーク経由を選択してから、次を行います：
     1) アップデート サーバーの設定ボックスを選択します。バーチャル キーボードが表示されます。
     2) アップデート サーバーのIPアドレスを入力します。必ず、ネットワークの設定をする必要があるので、アップデート サーバーのIPアドレスを知っている必要があります。
3. [アップデート]を選択して[ENTER]を押すと、アップデート プロセスを開始します。
4. [OK]を選択して[ENTER]を押すと、アップデートを開始、または[取消]を選択して[ENTER]を押すと、アップデートを停止、終了します。
   アップデート完了後、本製品の再起動を促すダイアログが表示されます。
5. [OK]を選択して[ENTER]を押すと、本製品が再起動します。

ハード ディスク



- フォーマット : HDD (ハード・ディスク・ドライブ)を初期化します。初期化されるHDDのデータはすべて消去されます。

  HDDのフォーマット方法

  1. [イベント パーティション]オプションを選択して、HDDの何%をイベント パーティションにするかを設定します。 HDDの60%をイベント パーティションに指定すると、残りの40%のスペースは自動的にノーマル パーティションにされます。
     - イベントパーティション: モーションおよびセンサー録画データのためのHDDスペースを節約します。
     - ノーマルパーティション: インスタントおよびノーマルな録画データのためのHDDスペースを節約します。
  2. [フォーマット]アイコンを選択して[ENTER]を押します。
  3. [OK]を選択して[ENTER]を押すと、フォーマットを開始します。
- 上書き :
  - オール : HDDの通常パーティションとイベント・パーティションに録画が一杯になったら上書き録画が可能です。
  - ノーマル パーティション : HDDのノーマルパーティションに録画が一杯になったらHDDのノーマルパーティションに上書き録画が可能です。
  - イベント パーディション : HDDのイベント・パーティションに録画が一杯になったらHDDのイベント・パーティションに上書き録画が可能です。
  - オフ : オーバライトを行いません。
- フル ワーニング : HDDがオーバーフローしたら、警告メッセージが表示されます。
- イベント パーディション : イベント録画のためイベント・パーティションのスペースを設定します。

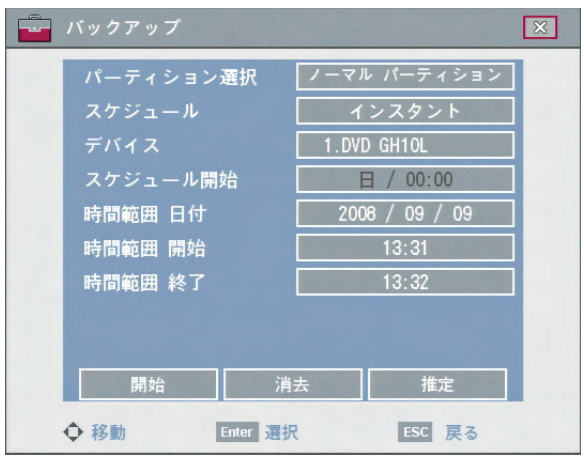
  注

  モーションおよびセンサー録画データは、HDDのイベント パーティション エリアに保存されます。 イベント録画に先立ち、イベント パーティションのスペースを設定してください。
- オートデリート: 自動消去日を設定します（オフ、1日、2日、5日、10日、20日、30日、40日、50日または60日）。自動消去日を設定すると、選定した日数以内にあるデータ以外の記録データが消去されます。この自動消去機能は、35分毎に動作します。

注:

イベント・パーティションの値を変更すると、現在、HDDに記録されているデータは削除され、そのパーティションはリセットされます。パーティションは自動的にフォーマットされ、本製品は再起動します。

バックアップ



- パーティション選択: バックアップ パーティションを選択します。
- スケジュール : バックアップ・スケジュールを設定できます
  - オフ: スケジュールがオフに設定されていると、[スケジュール開始]、[時間範囲 日付]、[時間範囲 開始]、[時間範囲 終了]の各オプションは入力できません。
  - インスタント : バックアップ・データが手動で保存されます。
  - 週間 または毎日 : バックアップ・データは設定により自動的に保存されます。
- デバイス : バックアップ・デバイスを選びます。
- スケジュール開始 : スケジュール開始日(週の日と時刻)を設定します。
- 時間範囲 日付:バックアップする日を入力します。
- 時間範囲 開始: 開始する曜日あるいは時間を入力します。
- 時間範囲 終了: 終了する曜日あるいは時間を入力します。
- 開始 : バックアップを開始します。
- 消去 : メディアを消去します。
- 推定 : バックアップ・データのサイズと外部USBデバイスのフリー・スペースを表示します。

注:

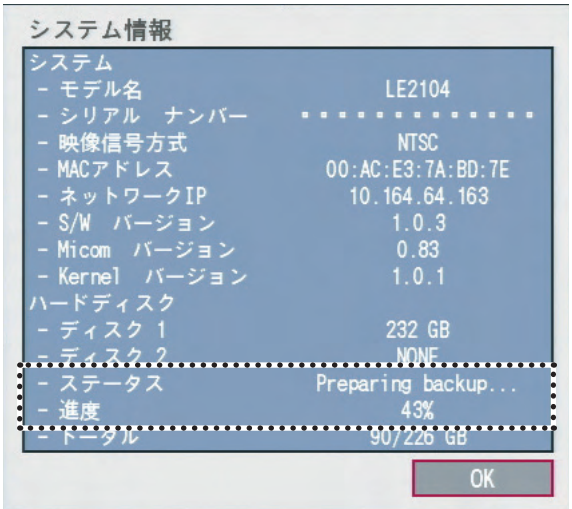
- 外付けUSB CD-ROMドライブを使用したバックアップ機能には対応していません。

- 外付けのUSB HDDは、250GBまではサポートされています。
- 機能不全を防ぐため推奨した外部USBデバイスを使用してください (61ページ参照)。
- CD-R、DVD-RまたはDVD+Rディスクは、フォーマットできません。
- 外部メディアは機能不全を防ぐため、本製品でフォーマットしてください。

- DVD+RWおよびDVD-RWディスクを使用する前に初期化してください。
- バックアップ進行中は、[推定]、[開始]、[消去]の各オプションは使用できません。
- バックアップ中にUSBデバイスを外さないでください。機能不全を引き起す恐れがあります。外したデバイスを再使用する場合、メディア消去のオプションを使用してメディアをフォーマットしなければなりません。
- 外付けメディアのフォーマットをPCで行うと、本製品でそのメディアは使えないことがあります。
- バックアップ データは、本製品でのみ再生できます。バックアップ データは、PCで再生できません。

インスタント・バックアップ

1. バックアップ用のUSBデバイスを接続、または記録可能なディスクを挿入します。
2. バックアップするパーティションを選択します。
3. スケジュール・オプションで[インスタント]を選択します。
4. バックアップ・デバイスを選択します。
5. [時間範囲 日付]、[時間範囲 開始]、[時間範囲 終了]のオプションをバックアップ用に設定します。
6. [推定]アイコンを選択して[ENTER]を押します。
7. 選択されたデータと空きスペースのサイズを確認します。デバイスに十分なスペースが無い場合、そのデバイスにスペースを作り出すか、または前に記録されたデータを消去します。
8. [開始]アイコンを選択して[ENTER]を押すと、バックアップを開始します。
9. セットアップ・メニューを終了します。
システム情報ウィンドウでバックアップのステータスを確認できます。



注:

- バックアップ中にバックアップを停止できません。
- 下記の状態で警告メッセージが現われます。
  - 開始時刻と終了時刻が同じである時。
  - 終了時刻が開始時刻より前である時。
  - メディアに十分なスペースが無い。
  - データが無い時刻を設定する時
- ディスク焼付けは単一セッション閉止フォーマットにより使用されます。
- バックアップにCD/DVD書込みデバイスを使用していると、バックアップ状態が下図に示すように表示されます。

  - ISO画像作成の第1状態

  - 書込みの第2状態

毎日/毎週のバックアップID

1. バックアップのためUSBデバイスを接続します。
毎日または毎週のバックアップのために、CDまたはDVDを使用できません。
2. スケジュール・オプションの[週間]または[毎日]を選択します。
3. バックアップ・デバイスを選択します。
4. スケジュールの開始オプションにバックアップを開始する日付と時間を入力します。
5. 時間範囲の開始オプションに週の日と時刻を入力します。
6. 時間範囲の終了オプションに週の日と時刻を入力します。
7. [推定]アイコンを選択して[ENTER]を押します。
8. 選択データのサイズおよびUSBデバイスのフリー・スペースをチェックします。
USBデバイスにスペースが足りなかったら、十分なスペースのUSBデバイスと交換するか、接続USBデバイスを消去します。

注:

- バックアップ中にバックアップを停止できません。
- 下記の状態で警告メッセージが現われます。
  - 開始時刻および終了時刻の設定が間違っている。
  - メディアに十分なスペースがない。
  - データが存在しない時刻を設定した時。
  - 選択USBデバイスが切断している時。
- バックアップ・データの推定サイズはおおよそのサイズだけです。従って、メディアにスペースが足りなくならないよう十分なスペースを用意しなければなりません。
- バックアップ プロセスが開始したら、システム情報ウィンドウでバックアップのステータスを確認できます。
- エクスポート中または、外部USBデバイスからのバックアップ・データを検索している間は、スケジュールしたバックアップは開始しません。エクスポートまたはバックアップ検索が終了した後、スケジュールしたバックアップが再起動します。
- スケジュール バックアップを設定した場合、バックアップ データのサイズはSetupメニューの録画設定から推定されます。この推定した録画データ サイズよりも実際の録画データ サイズが大きい場合には、スケジュール バックアップは起動されません。

システム

- IRリモートID: 本製品に対するIRリモートID (01～09)を選択します。本製品を複数台使用している場合、各装置に対してIRリモートIDを設定してください。
- DVR ID: 本製品に対するDVR ID (01～16)を選択します。本製品を複数台使用している場合、各装置に対してDVR IDを設定してください。LKD1000コントローラを用いて本製品を制御することができます(詳細に関しては、LKD1000の取扱説明書を参照してください)。
- 自動ユーザ ログアウト: ログアウトは、一定のインターバルで自動的に行われます。この自動ログアウト時間は、5分、10分、30分、60分またはオフに設定できます。
- デフォルト: 本製品を工場初期設定にリセットできます。特定のあるオプション(日付、時刻、サマータイム調整、時間帯およびユーザ・パスワードの設定) はリセットできません。
- エキスポート: 本製品からUSBメモリへ構成データをエクスポートします。
- インポート: USBメモリから本製品の構成データをインポートします。

注:

- 構成データのインポートは、本製品の構成データとデータの種類が同じときに使用できます。
- 構成エクスポート用のUSBメモリを使用する場合、他の外部USBデバイスを切断しなければなりません。
- 工場初期設定にリセットした場合、添付CD-ROM内のコンフィグレーションフォルダにあるファイルをUSBメモリにコピーしてインポートしてください。

録画

カメラからの映像は内蔵HDDに録画されます。

注:

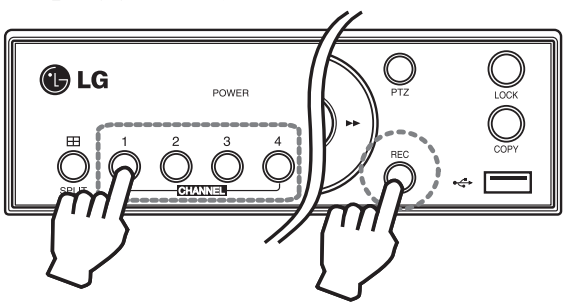
外部デバイスは、内蔵HDD内の録画映像のコピー領域として使用できます。直接、外部デバイスへ録画することはできません。

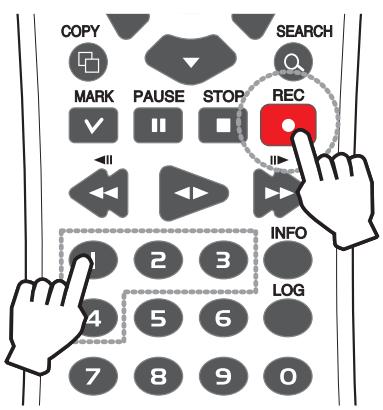
インスタント録画

すべてのカメラが接続して、日付と時刻を正しく設定したことを確認します。

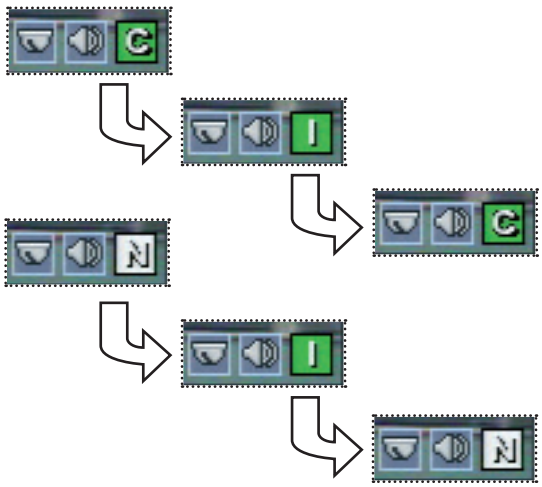
録画を開始する前に、最初にセットアップする本製品の録画メニューの繰返し録画設定をチェックし、次に録画設定を行います。

1. [REC]ボタンを押してから、録画をしたいチャンネルのボタンを押します。 メインモニターの選択したチャンネル スクリーンで、録画タイプ表示計が緑「I」に変わります。





2. [REC]ボタンを押してから、録画を停止したいチャンネルのボタンを押します。インスタント録画が停止されると、録画モードはスケジュール録画モード(連続録画/アラーム録画/モーション録画)に変わります。スケジュールが設定されていなければ、メインモニターの選択したチャンネル スクリーンで、録画タイプ表示計が白「N」に変わります。



注:

- アラーム録画や、モーション録画、連続録画のようにスケジュールされたチャンネルでもインスタント録画ができます。
- インスタント録画が停止されると、録画タイプ・インジケータはスケジュールされた録画モードに変わります。
- 次の場合には、インスタント録画も連続録画もできません。
  - HDDが接続されていない場合
  - HDDがフォーマットされていない場合
  - チャンネルに表示用の映像入力がない場合
  - 上書きを「オフ」または「イベント パーティション」に設定して、ノーマル パーティションがフルの場合
  - HDDの設定で、イベント・パーティションが100%に設定されている場合
- 以下の条件では、センサーとモーションの録画はできません。
  - HDDが接続されていない場合
  - HDDがフォーマットされていない場合
  - チャンネルに表示用の映像入力がない場合
  - 上書きを「オフ」または「ノーマル パーティション」に設定して、イベント パーティションがフルの場合
  - HDDの設定で、イベント・パーティションが0%に設定されている場合
  - スケジュール(センサー/モーション)録画が設定されていない場合
- 録画タイプに対応したHDDのパーティション
  - ノーマル・パーティション: 連続録画とインスタント録画のデータを記録するHDDのスペースです。このノーマル・パーティションを0%に設定してしまうと(イベント・パーティションが100%)、連続録画もインスタント録画もできません。
  - イベント・パーティション: アラーム録画とモーション録画のデータを記録するHDDのスペースです。このイベント・パーティションを0%に設定してしまうと、アラーム録画もモーション録画もできません。
- 録画の優先度
  インスタント録画> センサー録画 > モーション記録 > 連続録画
- マウスを用いたインスタント録画はできません。

検索と再生

再生

録画を停止しないで録画映像の再生が可能です。

1. 再生したいチャンネルを選びます。
2. 前の1、2分の録画の録画済み映像の再生には、◀▶を押します。
   再生映像はフルスクリーン ウィンドウに表示されます。
3. 再生の停止は■(STOP)を押します。

検索

本製品の種々の検索機能は、ご希望の映像の始めに行くことができます。
本製品は、3つの検索機能を持っています。
SEARCHボタンを押すと、検索メニューが表示されます。

日時の検索

日付、時刻および分を指定して録画映像を検索します。

1. ▲/▼ を用いて[日付/時間サーチ]オプションを選択し、次に[ENTER]を押します。

2. [ターゲット装置]を選択して[ENTER]を押します。
3. 希望のソース・デバイスを選ぶのに ◀/▶を用います。
   - 内蔵HDD : 内部HDDデバイスの録画内容の再生または検索。
   - ソース デバイス: ソース デバイスのバックアップ コンテンツの再生または検索
4. ターゲット装置を選択後、[ENTER]を押します。
5. [年]または[月]を選択して[ENTER]を押しま す。
6. ◀/▶ を使い、 年または月を入力します。
7. 年または月を入力後、[ENTER]を押します。
8. ◀/▶/▲/▼ を用いて、日付を選択して[ENTER]を押します。
9. [サーチ]アイコンを選択して[ENTER]を押すと、検索結果が表示されます。

10. ▲/▼ を用いて再生したいチャンネルを選択して、[ENTER]を押します。 このステップを繰り返して他のチャンネルを選択します。
11. [時間]を選択して、録画済み映像の再生を開始する時間を選択します。
12. ◀▶ (PLAY)を押すまたは、[再生]アイコンをクリックすると、再生を開始します。 メインモニターに映像が表示されます。
13. [STOP (■)]を押すと再生を停止し、前のメニューへ戻ります。
14. [SETUP]/[ESC]を何度か繰り返して押して、検索メニューを閉じます。

注:

- 時間グラフで示している録画データは録画タイプにより異なるカラーで表示されます。
  - 緑: 連続録画。
  - 赤: センサー録画。
  - 青: モーション検出録画。
  - カラー無し： 録画なし
- [拡大]アイコンを選択して[ENTER]を押すと、6時間毎に詳細タイムが表示されます。[縮小]アイコンを選択するとノーマルタイムに戻ります。

イベント サーチ

録画映像を、日付とイベント・タイプにより検索します。

1. ▲/▼ 使用して [イベント サーチ]を選択して[ENTER]を押すと、イベント検索メニューが表示されます。

2. [ターゲット装置]を選択して[ENTER]を押します。
3. 希望のソース・デバイスを選ぶのに◀/▶を用います。
4. ターゲット装置を選択後、[ENTER]を押します。
5. [日付]を選択して[ENTER]を押します。
6. 年、月、または日を設定します。
   6-1. ◀/▶ を用いてコラムを選択して[ENTER]を押します。
   6-2. ◀/▶ を用いて年、月、または日を選択します。
   6-3. [ENTER]を押して確定します。
   6-4. [OK]を選択して[ENTER]を押し、設定を確定してデータ設定メニューを閉じます。
7. [時間]を選択して[ENTER]を押します。
8. 時間を設定します。
   8-1. ◀/▶ を用いてコラムを選択して[ENTER]を押します。
   8-2. ◀/▶ を用いて時または分を選択します。
   8-3. [ENTER]を押して確定します。
   8-4. [OK]を選択して[ENTER]を押し、設定を確定して時間設定メニューを閉じます。
9. [ENTER]を用いてイベント検索のチャンネルを選びます。[A]を選択すると、すべてのチャンネルが選択されます。
10. ▲/▼ を用いて[イベント タイプ]を選択して[ENTER]を押します。
11. ◀/▶ を用いてイベント・タイプを選択して[ENTER]を押します。
12. [サーチ]アイコンを選択して[ENTER]を押すと、イベント・リストのメニューが表示されます。
13. イベント リスト上の録画データを選択してから、◀▶ (PLAY)を押す、または[再生]アイコンを選択して[ENTER]を押すと、再生を開始します。
メインモニターに映像が表示されます。

14. 再生を停止し、イベント・リストのメニューに戻るにはSTOP(■)を押します。
15. イベント検索メニューを終了するため[SETUP/ESC]を繰り返し押します。

ブックマーク サーチ

ブックマーク機能により登録したブックマークでお望みの映像を検索します。

1. ▲/▼ を用いて[ブックマーク サーチ]を選び、[ENTER]を押します。 ブックマーク・リストのメニューが表示されます。

2. リスト上の録画データを選択してから、◀▶ (PLAY)を押す、または[再生]アイコンを選択して[ENTER]を押すと、再生を開始します。
メインモニターに映像が表示されます。

   注意:

   リスト上のブックマークを削除するには、[削除]アイコンを選択して[ENTER]を押します。

3. 再生を停止し、ブックマーク・リストのメニューに戻るにはSTOP(■) を押します。
4. [SETUP/ESC]を押してブックマーク検索メニューを終了します。

注:

- ブックマーク検索によりバックアップ・データは再生できません。
- マルチ チャンネル再生にブックマークを登録できます。
- ブックマークの保存スペースが一杯になると、それ以上のブックマークは登録できません。 リストの登録済みのブックマークを削除した後で、ブックマークを登録できます。

再生中に使用可能な機能

ボタン			機能
システム コントロール バー	リモート コントロール	前面パネル	
	STOP		再生停止
	PAUSE		再生中断
			必要なスキャン速度を選択するのに繰り返し押します。(▶▶, ▶▶▶, ▶▶▶▶, ▶▶▶▶▶ または ◀◀, ◀◀◀, ◀◀◀◀, ◀◀◀◀◀) 早送り再生／巻き戻し再生
			中断モードでフレームごとに再生するのに繰り返し押します。
			逆再生または通常再生をするのに押します。
	MARK	-	再生中にマークしたい希望のポイントでMARKを押します。最大15ポイントをマークできます。

注:

- 通常速度のみでバックアップまたはエクスポート・データを再生できます。
- 逆フレーム・スキップ機能を使用すると、フレームをスキップします。
- マルチ・チャンネル再生は日付/時刻検索機能でのみ行えます。
- 複数チャンネルの再生中には、ある特定の1つのチャンネルだけをフルスクリーン上に表示することはできません。

クライアント・プログラム

クライアント プログラムは、 本製品のネットワーク プログラムです。掲載画像はOS (オペレーティング・システム)のタイプで異なることがあります。
本書で使用する画像は、Windows XPに基づいています。

注:
他のアプリケーションを、このクライアント・プログラムと一緒に使用しないでください。それによりメモリ不足やクライアント・プログラムの誤動作が生じることがあります。

PCの必要条件

- OS (Operating System) : Windows 2000以上、DirectX 8.1以上。
- CPU : Intel Pentium III以上、AMD Athlon 800 MHz以上。
- RAM : 512 MB以上。
- Graphics Card : 64 MB以上のVideo RAM付きAGP VGA。

推奨PC仕様
- OS : Windows XP
- CPU : Intel Pentium IV
- RAM : 512 MB
- Graphics Card : 128 MB ビデオRAM付きAGP VGA

クライアント・プログラムのインストール

1. クライアント・プログラムCDを挿入すると、インストールを自動的に開始します。
   ディスクをPCで自動的に実行しなかったら、CDクライアント・プログラムを開き、プログラムを手動でインストールしてください。
2. イントール・ファイルを実行して、表示されるInstallShield Wizardに従ってご自分のPCにプログラムをインストールしてください。
3. インストールが終了すると、PCのスタート・メニューにこのプログラムが入っています。

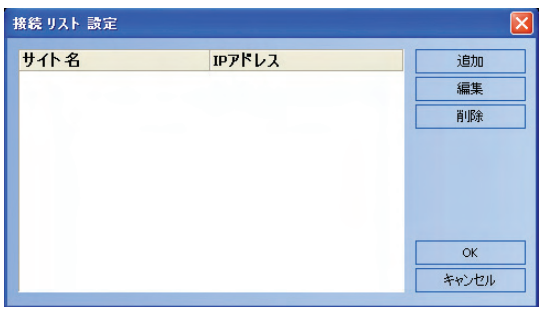
注:
[LG Emergency Agent]と[LG Export viewer]の2つのプログラムもクライアント・プログラムと一緒にインストールされます。

DVRに接続

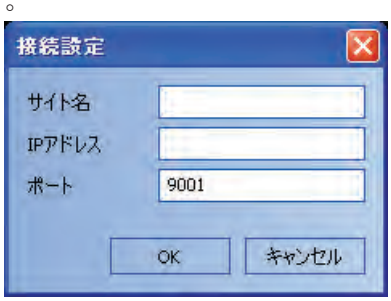
サイト名の登録

クライアント・プログラムにより本製品を制御するためサイト名を登録してください。

1. クライアント・プログラムを開始するため[LG Network Client] アイコンをダブル・クリックします。[Network Client]メニューが表示されます。
2. [ツール] > [接続情報]を選びます。
   接続リストのメニューが表示されます。



3. [追加]を選択すると、サイト情報メニューが表示されます。



4. サイト名、IPアドレスおよびポートを入力します。
   - サイト名: サイトの記述を入力します。
   - IPアドレス: 本製品のIPアドレスまたは、DDNS設定の登録済みホスト名を入力します(30ページ参照)。
   - ポート: TCP/IPポートの番号を入力します。
     入力しない場合、ポート番号の初期値が設定されます (29ページ参照)。
5. [OK]を選びます。
6. 設定を確認するため[OK]選びます。
   登録したサイト名が表示されます。

注:
IPアドレスの代りにサーバー名を入力する場合、DDNS機能を設定してください(30ページ参照)。

IPアドレスを知るには

固定IPアドレスを使用する場合

設定メニューのTCP/IPオプションのIPアドレスを確認します。

動的IPアドレスを使用する場合

1. INFO(情報)を押して、システム情報ウィンドウを表示します。
2. 「ネットワークIP」オプションの値を確認します。

注:

動的IPアドレスを使用する場合には、DHCPオプションをON(オン)に設定します。

DDNS機能を使用する場合

DDNS設定メニューの登録ホスト名を確認してください (30ページ参照)。

ブロードバンド ルーターを経由して、本製品がネットワークに接続されている場合、

ブロードバンド ルーターの設定を基準にして、転送ポートを設定する必要があります。設定の詳細に関しては、ブロードバンド ルーターのマニュアルを参照してください。

注:

ブロードバンド ルーターで、本製品を複数台使用する場合、各装置毎にTCP/IPポート番号を設定する必要があります。

ユーザ・ログイン

1. 登録したサイト名を選び、マウスの右ボタンをクリックします。
2. [ユーザー ログイン]を選びます。
3. ユーザIDとパスワードを入力します。
   - ADMINISTRATOR: 本製品の全ての操作ができます。
   - パワー ユーザ: ライブと検索モード機能を操作できます。
   - 一般ユーザ: ライブ映像のみを操作できます。

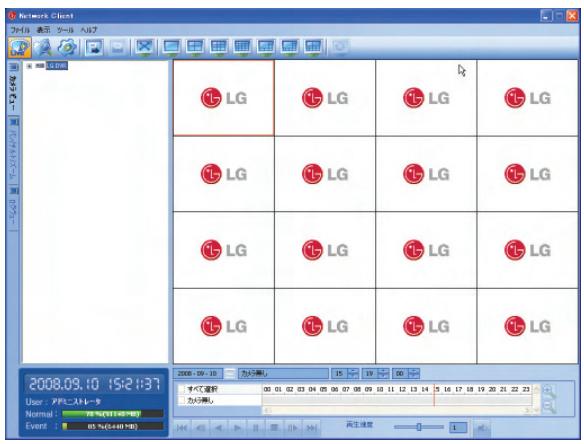
4. [OK]を選択すると、[Network Client]メイン・ウィンドウが表示されます。

注:

- 本製品にAdmin IDでログインしている場合、他の人はAdmin IDでログインできません。
- ログアウトするには、サイト名にマウスの右ボタンをクリックし、 [ユーザー ログアウト]を選びます。
- 下表に示すように、クライアント・プログラムを用いて5ユーザまで本製品に接続できます。

ユーザ	ユーザ1	ユーザ2	ユーザ3	ユーザ4	ユーザ5
Case 1	Admin	Power	Normal	Normal	Normal
Case 2	Power	Power	Normal	Normal	Normal
Case 3	Normal	Normal	Normal	Normal	Normal
Case 4	Admin	Normal	Normal	Normal	Normal
Case 5	Power	Normal	Normal	Normal	Normal

DVRクライアント・プログラムのメイン・スクリーン



1. プログラム・メニュー
   - ファイル
     - 終了 : プログラムを終了します。
   - 表示
     - スクリーン表示
       > チャンネル番号 : チャンネル・ウィンドウのチャンネル番号を表示または削除します。
       > サイト名 : チャンネル・ウィンドウのサイト名を表示または削除します。
       > カメラ名 : チャンネル・ウィンドウのカメラ名を表示または削除します。
       > 再生時間 : チャンネル・ウィンドウの再生データの日付/時刻を表示または削除します。
       > PTZ : チャンネル・ウィンドウのPTZカメラのアイコンを表示します。
       > 音声 : チャンネル・ウィンドウのオーディオのアイコンを表示します。
       > すべて選択 : チャンネル・ウィンドウのすべてのOSDオプションを表示します。
     - シーケンシャル(表示時間) : 5秒、10秒、15秒または20秒のシーケンスを選びます。
     - シーケンス モード
       > チャンネル シーケンス: シーケンス モードで選択したサイトの各チャンネルが順次表示されます。

> サイト シーケンス: シーケンス モードにログインしたサイトの各チャンネルが順次表示されます。

- 言語 : クライアント・プログラムの言語を選択します。

• ツール
- 接続情報: サイト名を登録します。

• ヘルプ
- クライアント情報:クライアント情報を表示します。

2. モード切替えアイコン

• ライブ・モード
- カメラビュー : ウィンドウとカメラ情報の監視カメラ映像を見ることができます。
- パン/チルト/ ズーム: PTZカメラを制御できます。
- ログビュー : システム・ログのリストを表示します。

• 検索モード
下に示すように録画データを検索できます。
- 日付/時刻の検索(47ページ参照)
- イベント検索(47ページ参照)
- ブックマーク検索(47ページ参照)

• リモート・セットアップ・モード
本製品の構成を設定できます。
- カメラと表示(48-49ページ参照)
- スケジュール(49-50ページ参照)
- イベント(50ページ参照)
- ネットワーク(50-51ページ参照)
- システム(51-52ページ参照)

3. リモート エキスポート アイコン
リモート エキスポートのウィンドウがポップアップされます。(52-53ページ参照)。

4. プリント アイコン
選択したチャンネルの記録データの再生を中断するために、PAUSEボタンを押すと、プリント アイコンが使用可能になります。選択したチャンネルの記録データの映像がポーズされていますので、この映像を印刷できます。

5. スクリーン・モード選択アイコン

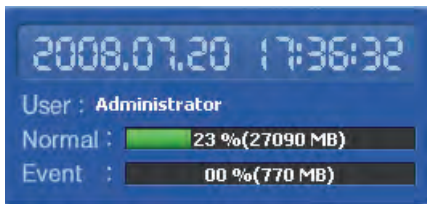
• フル スクリーン モード
ライブ・ウィンドウをフル・スクリーン・モードで見ることができます。通常のスクリーンに戻るには、マウスの右ボタンをクリックします。

• 分割モード

アイコンをクリックするとスクリーンは分割モードに変更され、アイコンをもう一度クリックするとスクリーンは順番に変更されます。表示ウィンドウ・モードを選択します。ライブ・ウィンドウをフル・スクリーン・モードで見ることができます。

6. シーケンス・アイコン
すべてのチャンネルを順に見ます。4分割画面ではこのシーケンスモードは利用できません。

7. 情報表示ウィンドウ



現在の日付と時刻、ユーザ情報および選択サイトのHDDフリー・スペースを表示します。

ライブ・モード

カメラ・ビューの使用

1. ライブ・モードでカメラ・ビュー・タブを選びます。
2. 登録したサイト名を選び、マウスの左ボタンをダブル・クリックするか、登録したサイト名のプラス・マークをクリックします。
3. [Cameras]を選び、マウスの左ボタンをダブル・クリックするか、プラス・マークをクリックします。
4. 見たいチャンネル番号を選びます。
5. マウスの左ボタンを用いてチャンネル番号をクリックし、ライブ・ウィンドウ位置にドラッグ・アンド・ドロップします。[Cameras]を選び、ライブ・ウィンドウにドラッグ・アンド・ドロップすると、すべてのチャンネルが表示されます。
6. ライブ映像が選択ウィンドウに表示されます。

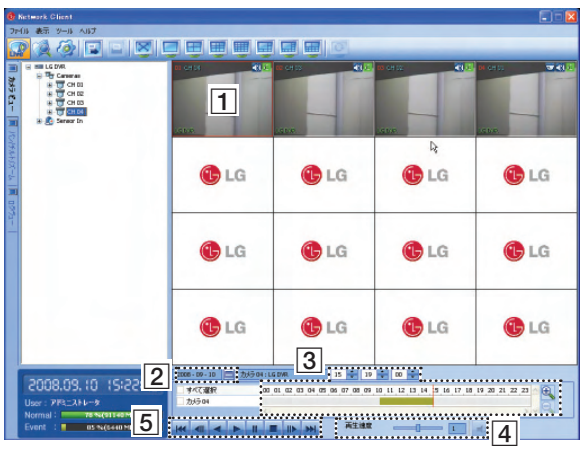
7. ステップ3~5を繰り返して他のライブ・ウィンドウを設定します。

注:

カメラ・ビューの構成は最初のみ設定してください。その構成セットアップは次回まで記憶されており、そのまま表示されます。

ライブ・ウィンドウの使用

録画済みデータを再生して、ネットワーク経由でそれをモニタできます。



1. カメラの表示画面を選びます。(1)
2. データアイコンをクリックして、データを選択します。 (2) 日付は録画データがあるとき青いテキストで表示されます。
3. 再生開始時刻を選びます。(3)
   開始時刻の検索にタイムラインを用いるとき、Zoom In/Outアイコンを使用してより詳細な検索ができます (4ステップ)。
4. 再生速度を選びます。 (4)
5. この制御ボタンを用いて再生を開始します。(5)

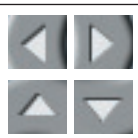
注:

- サウンド付きで再生したくない場合、スピーカ・アイコンをクリックして音をミュートにします。
- Normal User IDでログインするときは再生機能を使用できません。

パン/チルト/ズーム機能の使用

ネットワークを経てPTZカメラを制御できます。

1. パン/チルト/ズーム・タブを選びます。
2. PTZカメラチャンネルウィンドウを選択します。
3. PTZカメラの制御に仮想リモート・コントロール・ボタンを使用します。

ボタン		機能
1		カメラのパン/チルトに用います。
		プリセット位置を確認します。
2		カメラのズームを調節します。
3		カメラの焦点を手動で調節します。
4		カメラの絞りを手動で調節します。
5		選択したプリセット番号を表示
6		番号ボタン プリセット番号を入力します。

7	SET	カメラのプリセット位置を登録します。
8	MOVE	カメラをプリセット位置に動かします。
9	CLEAR	記憶しているプリセット位置を削除します。
10	TOUR	プリセット・ツアーを開始します。
11	SETUP	PTZカメラのセットアップ・メニューを表示します。

注:

- 他の人が本製品を用いてPTZカメラを制御すると、PTZ機能を使用できません。その逆も同様です。
- Normal User IDでログインするとPTZ機能を使用できません。

プリセット位置の登録

1. /// を使用して、希望するポイントにカメラを動かします。
2. SET アイコンをクリックします。
3. 登録したいプリセット番号を選びます。
4. アイコンをクリックします。
   位置と番号は記憶されます。
5. ステップ1~4を繰り返して別の位置を追加します。

注:

プリセット範囲は、0から255までです。
実際のプリセット範囲はPTZカメラによって異なります。

プリセット位置の映像へ変更

以下の機能はプリセット機能付きのカメラのみに使用できます。
プリセット機能によりコンビネーション・カメラをプログラムしたプリセット位置に移動させます。
コンビネーション・カメラにはあらかじめプリセット位置をプログラムする必要があります。

1. MOVE アイコンをクリックします。
2. 番号アイコンを使用して記憶したプリセット位置のインデックス番号を入力し、それから アイコンをクリックします。カメラはカプリセット位置に移動し、その位置のカメラの映像がモニタに現われます。

プリセット位置のクリア

記憶したプリセット位置を削除できます。

1. CLEAR アイコンをクリックします。
2. 番号アイコンを使用して記憶したプリセット位置のインデックス番号を入力し、それから アイコンをクリックします。
   プリセット位置が削除されます。

プリセット位置のツアー

プリセット位置のすべてをツアーできます。

1. TOUR アイコンをクリックします。.
   カメラの登録したすべてのプリセット位置が選ばれ、カメラ位置の映像がアクティブなウィンドウでオンになります。
2. TOUR アイコンをクリックしてツアーを停止できます。

PTZカメラのセットアップ

メニューの各項目を用いてPTZカメラの設定を変更できます。

1. SETUP アイコンをクリックします。
   MENUがウィンドウに現われます。
2. 矢印と アイコンを使用してオプションを設定します。

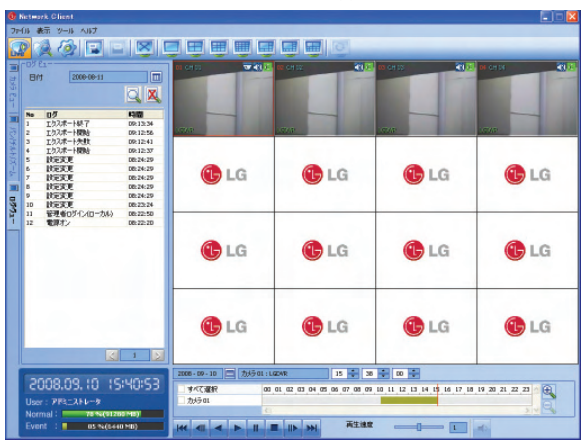
注:

詳細はPTZカメラのマニュアルを参照してください。

ログ・ビュー機能の使用

ネットワークを経てリモート・セットアップ・タブの選択サイト名のシステム・ログ・リストを見ることができます。

1. ログ・ビュー・タブを選びます。
   ログ検索メニューが現われます
2. アイコンをクリックして、ログサーチを行う日付を選択します。
   (選択可能な日は青いテキスト・カラーで表示されます。)
3. アイコン、 をクリックします。
   システム・ログがリストに表示されます。

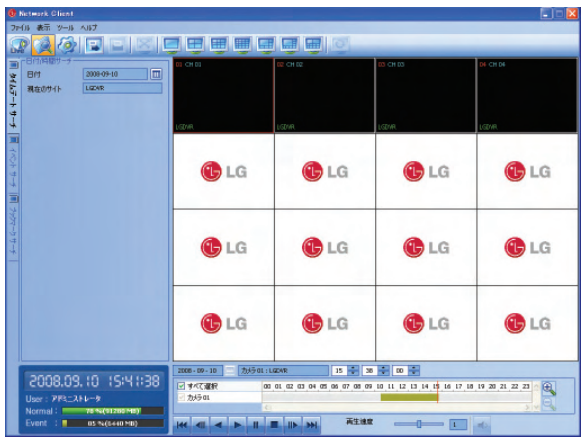


検索モード

ネットワークを経てリモート・セットアップ・タブの選択サイト名のデータを検索できます。

日付/時刻検索機能の使用

日付、時刻および分を指定して録画映像を検索します。

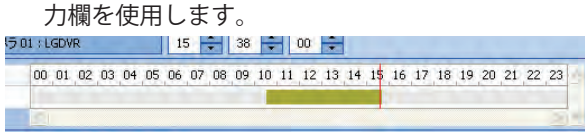


1. 日付/時刻の検索タブを選びます。
2. 日付アイコンをクリックして日付を選びます。
   (選択可能な日は青いカラーで表示されます)
3. 見たいチャンネル・ウィンドウを選択します。

すべてのカメラ・チャンネル・ウィンドウから見たいときマーク。

選択カメラ番号を表示。

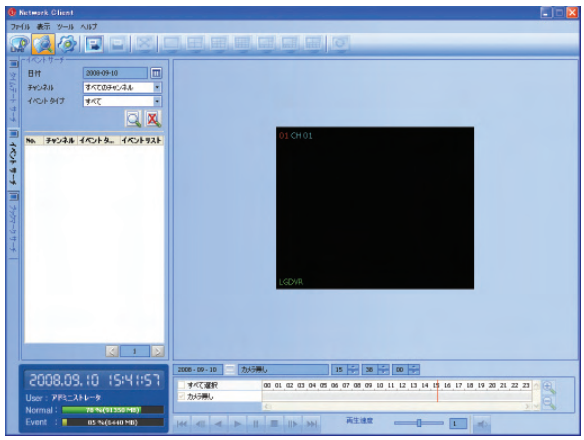
4. 録画データを検索するためタイムラインとタイム入力欄を使用します。



5. 再生制御ボタンを用いて検索したデータを再生できます。

イベント検索機能の使用

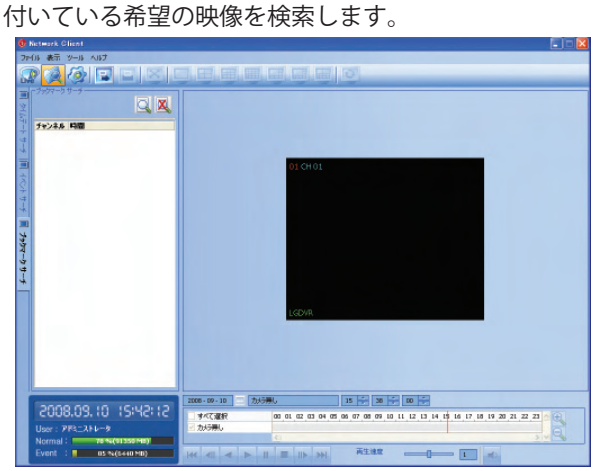
日付とイベント・タイプによる録画映像を検索します。



1. イベント検索タブを選びます。
2. 日付アイコンをクリックし、日付を選びます。
   (選択可能な日は青いカラーで表示されます)
3. イベント検索にカメラ・チャンネルを選びます。
4. イベント・タイプを選びます。
5. タイムラインを用いて開始時刻を選びます。
6. 検索アイコンをクリックします。
   イベント・リストが表示されます。
7. イベント・リストのイベントを選びます。
8. 再生制御ボタンを用いて検索したデータを再生できます。

ブックマーク検索機能の使用

ブックマーク機能を利用して、登録したブックマークが付いている希望の映像を検索します。

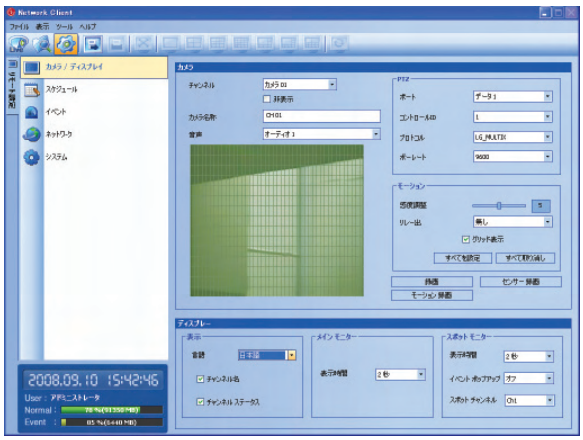


1. ブックマーク検索タブを選びます。
2. 検索アイコンをクリックします。
   すべてのブックマーク・データがリストに表示されます。
3. リストのデータを選びます。
4. 再生制御ボタンを用いて検索したデータを再生できます。

リモート・セットアップ・モード

ネットワークを経てリモート・セットアップ・タブの選択サイト名の本製品を設定できます。

カメラとディスプレイのセットアップ



カメラの設定

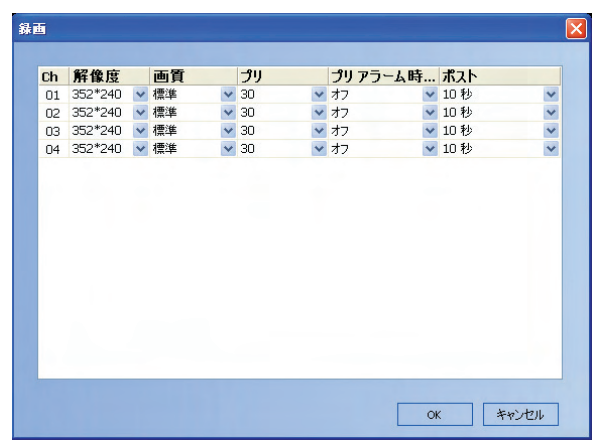
1. 設定するカメラを選びます。
   チャンネルを他のユーザから防ぐには変換オプションをマークしてください。マークしたチャンネルは、PowerまたはNormal Userには、ライブ・ウィンドウにLG logoと表示されます。
2. 新しいチャンネル名を入力します。
3. 入力オーディオ・チャンネルを選びます。
4. PTZ制御オプションを設定します。
   - ポート : 背面パネルのRS-485ターミナルの接続データ・ポートを選びます。
   - コントロール ID : 0から255までのPTZカメラIDを選びます。PTZカメラと同じ設定にします。
   - プロトコル : PTZカメラでサポートされたプロトコルを選びます。
   - ボーレート : 通信速度を選びます。(1200、2400、4800、9600、19200)
5. モーション・オプションを設定します。
   - 感度調整 : 作成したモーション検出エリアの感度を設定します。感度は0から10レベルに設定できます。
   - リレー出 : モーションが検出されたときの出力アラーム信号にRELAY-OUTターミナルの番号を選びます。
   - エリア : モーション検知エリアは、出荷時のデフォルト設定で全エリアにされています。プレビュー ウィンドウ画面上でマウスを使用して、このエリアを変更できます。
     - エリアの選択： マウスの左ボタンでスタートポイントをクリックして、エンド ポイントまでドラッグ アンド ドロップします。
     - エリアの消去： マウスの右ボタンでスタートポイントをクリックして、エンド ポイントまでドラッグ アンド ドロップします。

注:

- グリッドを表示したいときは、[グリッド表示]オプションをマークします。
- すべての領域を選びたいときは、[すべてを設定]ボタンをクリックするか、または選択したエリアを取り消すため[すべて取り消し]ボタンをクリックします。

録画の設定

1. [録画]ボタンをクリックします。
   録画設定ウィンドウが表示されます。



2. マウスを使用して、各オプションを設定します(22ページ参照)。
3. [OK]ボタンを押して、設定を確定します。

センサー録画の設定

1. [センサー録画]ボタンをクリックします。
   センサー録画設定ウィンドウが表示されます。

2. マウスを使用して、各オプションを設定します(23ページ参照)。
3. [OK]ボタンを押して、設定を確定します。

モーション録画の設定

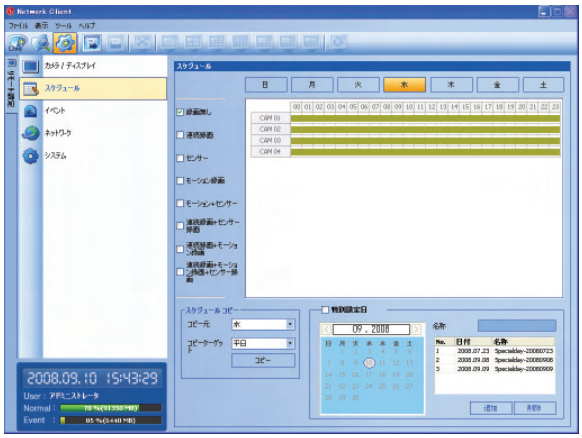
1. [モーション録画]ボタンをクリックします。
   モーション録画設定ウィンドウが表示されます。

2. マウスを使用して、各オプションを設定します(23ページ参照)。
3. [OK]ボタンを押して、設定を確定します。

ディスプレイの設定

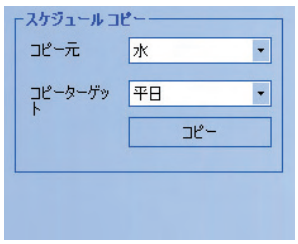
1. OSDオプションを設定します。
2. メイン・モニタ・オプションを設定します。
3. スポット・モニタ・オプションを設定します。

スケジュールのセットアップ



1. 曜日を選びます。
2. お望みの録画オプションをマークします。
   - 録画無し: 録画をスケジュールしません。
   - 連続録画: プリセット時刻に自動的に録画を開始します。
   - センサー録画: 指定された時間内にセンサ イベントが生じたら、録画が自動的に開始されます。
   - モーション録画: モーションが選択時間内に検出されると録画が自動的に開始します。
   - モーション+センサー録画: 指定された時間内にセンサ イベントおよびモーション検知が生じたら、録画が自動的に開始されます。
   - 連続録画＋センサー録画： 自動的にプリセット時間から録画を開始します。指定された時間以内に、センサ アラームが生じたら、連続録画モードからセンサ イベント録画モードに変わり、録画が自動的に始まります。
   - 連続録画＋モーション録画： 自動的にプリセット時間から録画を開始します。指定された時間以内に、モーションが検知されたら、連続録画モードからモーション イベント録画モードに変わり、録画が自動的に始まります。
   - 連続録画＋モーション録画＋センサー録画： 自動的にプリセット時間から録画を開始します。センサ アラーム信号が入力されたら、またはモーションが検知されたら、連続録画モードからモーション イベント録画モードに変わり、録画が自動的に始まります。
3. スケジュールを設定するチャンネルを選びます。
4. 開始時刻のセル・ブロックをクリックし、時間セル・ブロックを選ぶのにドラッグ・アンド・ドロップします。
   または
   チャンネルの開始時刻セル・ブロックをクリックし、チャンネル間をドラッグ・アンド・ドロップして、複数のチャンネルについて時間ブロックを一度で選びます。セル・ブロックのカラーが変わります。

スケジュール コピーの設定

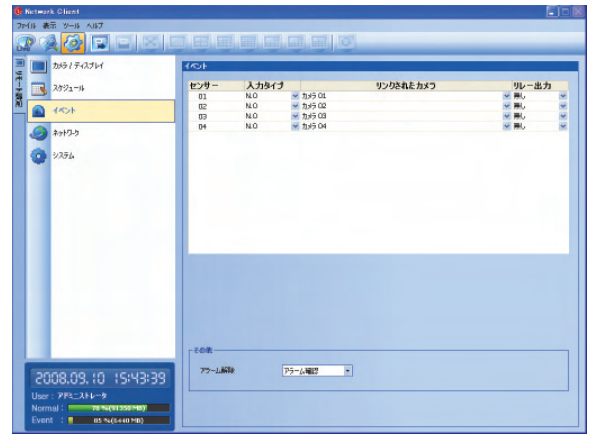


1. コピー元を選びます。
2. コピーターゲットを、曜日、平日または週末のオプションの中から選びます。
3. スケジュール・データをコピーするため、コピーををクリックします。

特別設定日 の設定

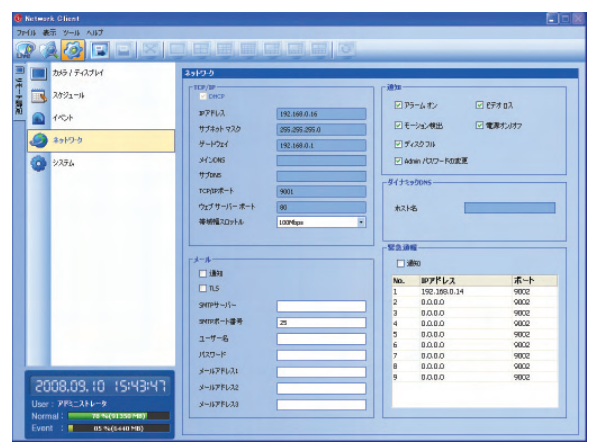
1. 特別設定日 オプションをマークします。
2. 特別設定日 スケジュールを設定する日付を選びます。
3. お望みの録画オプションをマークします。
4. スケジュールを設定するチャンネルを選びます。
5. 開始時刻のセル・ブロックをクリックし、時間セル・ブロックをドラッグ・アンド・ドロップして選びます。
   またはチャンネルの開始時刻セル・ブロックをクリックし、チャンネル間をドラッグ・アンド・ドロップして、複数のチャンネルについて時間ブロックを一度で選びます。
   セル・ブロックのカラーが変わります。
6. 特別設定日の名前を入力します。
7. 特別設定日の設定を追加するため追加ボタンをクリックします。
   特別設定日がリストに追加されます。
   登録した特別設定日を取り消すには、リストの特別設定日を選び、削除ボタンをクリックします。

イベントのセットアップ



1. イベント・オプションを設定します。
   - センサー: ALARM-INターミナルの番号を表示します
   - 入力タイプ : アラーム状態はN.O. (通常開)またはN.C.の(通常閉)のどちらかに設定できます。
   - リンクされたカメラ: ALARM-INターミナルで接続カメラ・チャンネルを選びます。
   - リレー出力: 出力アラーム信号用のRELAY-OUTターミナルのアラーム出力番号を選びます。
2. その他のオプションを設定します。
   - アラーム解除： 「アラーム確認」または「ポスト アラーム時間」のオプションをオフに設定します。

ネットワークのセットアップ



TCP/IPの設定

DHCP、IPアドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ、メインDNS、サブDNS、TCP/IPポートおよびウェブ サーバー ポートのオプション設定はクライアント・プログラムで行えません。それらのオプションは本製品のシステム・メニューで設定できます。

- 帯域幅スロットル: データ・トラフィックを調節するため帯域幅を入力します。

メールの設定

メール・オプションを設定します。

- 通知 : 通知オプションをマークすると、装置の動作情報を電子メールでユーザに通知します。

- TLS: TLS (Transport Layer Security)機能利用時にチェックします。
- SMTPサーバー : SMTPサーバーのアドレスを入力します。
- SMTPポート番号 : SMTPポート番号を入力します。通常、SMTPに使用されているTCPポートは25です。機密保護等のため、ポート番号を変更することができます(1 ～ 65535)。

- ユーザー名 : ユーザ名を入力します。
- パスワード : パスワードを入力します。
- メールアドレス（1~3): メールアドレスを入力します**(最大23文字です)**。

注:

SMTPサーバー、SMTPポート番号、ユーザ名およびパスワードの設定はオプションです。
本製品は、SMTPサーバーまたはMTA (メッセージ転送エージェント)を設定せずに直接電子メールを送ることができますが、電子メールを受信できない場合は、SMTPサーバーを使用してください。SMTPサーバーのセットアップの詳細は、ネットワーク管理者または、メール・サービスのプロバイダにお尋ねください。

通知

通知オプションを設定します。

- アラームオン : センサーが検出されたとき電子メールを送出。
- ビデオ ロス : カメラからのビデオ信号がカメラのコード切断または機能不全のため停止したとき電子メールを送出。
- モーション検出: モーション検出されたとき電子メールを送出。
- 電源オン/オフ : 電源がオンまたはオフのとき電子メールを送出。
- ディスク フル : HDDの録画が一杯のとき電子メールを送出。
- Adminパスワードの変更: Administratorのパスワードを変更したとき電子メールを送出。

ダイナミックDNS

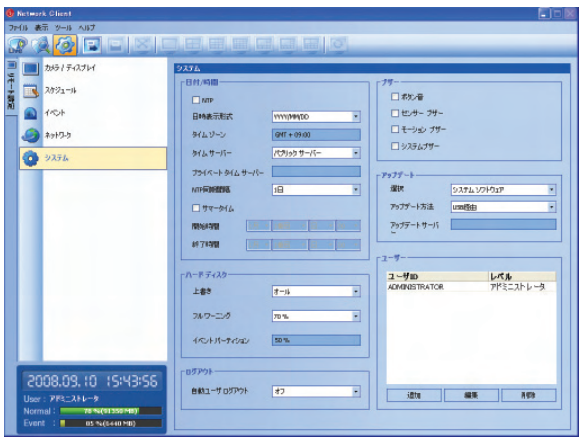
- ホスト名: 登録されたホスト名が表示されます。

緊急事態

- 通知 : 通知を設定すると、装置の動作情報を緊急エージェントへ通知します。
- IPアドレス / ポート: PCにインストールされているエマージェンシー・エージェント・プログラムのIP/ポート番号を入力します。

この機能の工場出荷時のポート番号は9002です。
セキュリティを高めるために、ポート番号を変更することができます(1025 ～ 65535)。
最大9個のIP/ポート番号を設定することができます。

システムのセットアップ



日付/時刻の設定

日付/時刻のオプションを設定します。

- NTP: 時刻調節にNTP (ネットワーク・タイム・プロトコル)サーバーを使用するときマークします。
- 日時表示形式 : 日付表示フォーマットを選択します。
- タイム ゾーン: クライアント プログラムでは、このオプション設定は利用できません。
- タイム サーバー: タイム・サーバーを選びます。本製品は、5つの公共サーバー(time.nist.gov、time-a.nist.gov、time-b.nist.gov、ntp.nasa.gov、clock.isc.org)間の平均時間を得ます。
- プライベート タイムサーバー : プライベート・タイム・サーバーのIPアドレスまたはホスト・ネームを入力します。
- NTP同期間隔 : NTPのタイム・サーバーとの同期間隔を1日、1時間、1週間または1ヶ月に設定できます
- サマータイム: 夏時間機能を使用する時に、チェックします。
  - 開始時間: 夏時間開始の時間を選択します。
  - 終了時間: 夏時間終了の時間を選択します。

ハード・ディスク

- 上書き : 上書き録画タイプ (オフ、ノーマルパーティション、イベント・パーティションまたはすべて)を選びます。この機能は選択HDD タイプが完全に録画されていたら有効です。
- フル ワーニング : HDDがオーバーフローしたら、警告メッセージが表示されます。
- イベント パーディション : イベント録画のためイベント・パーティションのスペースを設定します。

ログアウト

- 自動ユーザログアウト: ログアウト時間の設定： 自動ログアウト時間を5分、10分、30分または60分に設定できます。

ブザーの設定

ブザー・オプションを選択します。

- ボタン音: ボタンを使用していると音を鳴らします。
- センサー ブザー: センサー感知すると音を鳴らします。
- モーション ブザー: モーション検出すると音を鳴らします。
- システムブザー：HDDに壊れたセクターがあると音をを鳴らします。

アップデートの設定

アップデート・オプションをセットアップします。

- 選択: アップデートの項目を選びます。
  - PTZプロトコル： PTZプロトコルのアップデートを設定します。
  - システム ソフトウェア： システムS/Wのアップデートを設定します。
- アップデート方法 : アップデート方法を選びます。
  - USB 経由: USBメモリからアップデートします。
  - ネットワーク経由 : アップデート・サーバーからアップデートします。
- アップデート サーバー : アップデート・サーバーのIPアドレスを入力します。

注:

アップデート・サーバーからアップデートできない場合は、アップデート・サーバーのTCP/IPオプションとIPアドレスをチェックします。

ユーザ設定

ユーザの追加

ユーザを追加できます。

1. 「追加」ボタンをクリックします。設定ウィンドウが表示されます。
2. ユーザIDとパスワードを入力します。
3. 確認のために、再度パスワードを入力します。
4. ユーザ レベルを選択してから、「OK」をクリックして選択を確定します。

登録ユーザの編集

ユーザID、パスワード、またはユーザ レベルは変更できます。

1. ユーザIDを選択してから、「編集」ボタンをクリックします。
2. ID、パスワードまたはユーザ レベルを変更してから「OK」をクリックして選択を確定します。

登録ユーザの削除

1. 削除したいユーザIDを選択します。
2. 「削除」ボタンをクリックします。

リモート エキスポートの設定

記録されている映像や音声データを、本製品からPCへコピーできます。この機能は、アドミニストレータとパワー ユーザだけが使用できます。

エキスポートの設定

- サーバー: 選択されているサーバーの名前が表示されます。
- チャンネル
  - チャンネル: データをエクスポートするチャンネルを選択します。1チャンネル以上を選択してください。
  - 音声: 音声データのエクスポートのオンまたはオフを設定します。
- 日付 / 時間
  - スタート: コピーの開始日/開始時刻を設定します。
  - 終了: コピーの終了日/終了時刻を設定します。
- 保存先: エクスポートされたデータを保存する現在のフォルダーを表示します。 エクスポートされたデータを保存するPC上のフォルダーを選択(作成)できます。 最初のフォルダーは、"C:\LE Exported Files"です。 エクスポートされたデータを保存するフォルダーを変更する場合は … のアイコンをクリックして新しいフォルダーを選択します。
- 保存制限容量: エクスポートされるデータを保存するフォルダーのデータ容量を制限できます。
- データの種類: 保存するファイルのフォーマットを、「Native [*.exp]」と「AVI」から選択できます。 ネイティブ ファイルは、拡張子「exp」(*.exp)を用いて、AVIファイルは拡張子「avi」(*.avi)を用いて保存されます。 保存された「*.exp」ファイルはエキスポート ビューア プログラムで再

生できます、そして「*.avi」ファイルはウインドウズ メディア プレーヤまたはその他の「avi」ファイル プレーヤで再生できます。

- 追加: リストにエクスポート設定を追加します。
- 編集: リスト上で選択されたエクスポート設定を編集します。
- 削去: リストから選択されたエクスポート設定スケジュールを削除します。
- エクスポート: クリックして、選択されたエクスポート設定のデータをエクスポートを開始します。
- キャンセル: クリックして、データのエクスポートをキャンセルします。
- 戻る: クリックしてウィンドウを閉じます。

データのエクスポート方法

1. エキスポート チャンネルのオプションを設定します。1チャンネル以上を選択してください。
2. 日付/時刻のオプションを設定します。
3. エクスポートされたデータを保存するPC上のフォルダーを設定します。
4. エクスポート保存容量を選択します。
5. データのタイプを選択します。
6. [追加]ボタンをクリックします。構築されたサーバー、開始時刻、終了時刻およびステータスをリストします。
7. リストに登録済みのエクスポート設定スケジュールを選択します。
8. [エクスポート]ボタンを押して、設定を確定します。 ステータスコラムに、エクスポートのステータスが表示されます。

注:

- エクスポートされるデータのファイル名は、自動的に[サーバー名_チャンネル番号_エクスポート開始時刻.exp(または"avi")]となります。
- エクスポート ディレクトリを指定しないと、エクスポート ディレクトリはデフォルトのディレクトリに設定されます、またサブ ディレクトリは開始時刻で作成されます。
- ネットワーク クライアントからログアウトすると、エクスポート シーケンスは終了されます。
- データをエクスポートするためには、[保存制限容量]オプションは1 MB以上にしてください。
- エクスポートされるデータのサイズが保存制限容量オプションで設定されているサイズより大きい場合は、警告メッセージが表示され、そのデータはエクスポートできません。
- 存在しないデータに対して時刻を設定すると、エクスポート機能は動作しません。
- 次の条件に対して、警告メッセージが表示されます。
  - 開始日/開始時刻が終了日/終了時刻が同じであるとき。
  - 開始日/開始時刻が終了日/終了時刻よりも後であるとき。

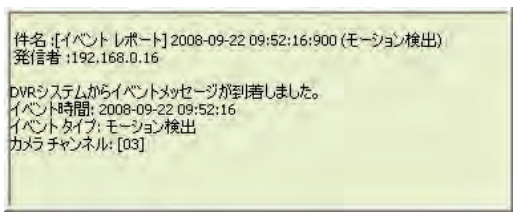
追加プログラム

緊急エージェント・プログラム

緊急オプションの通知をオンに設定すると、本製品はセットアップ・メニューの通知オプションの設定により、メッセージを送出します。(31-32ページ参照)。

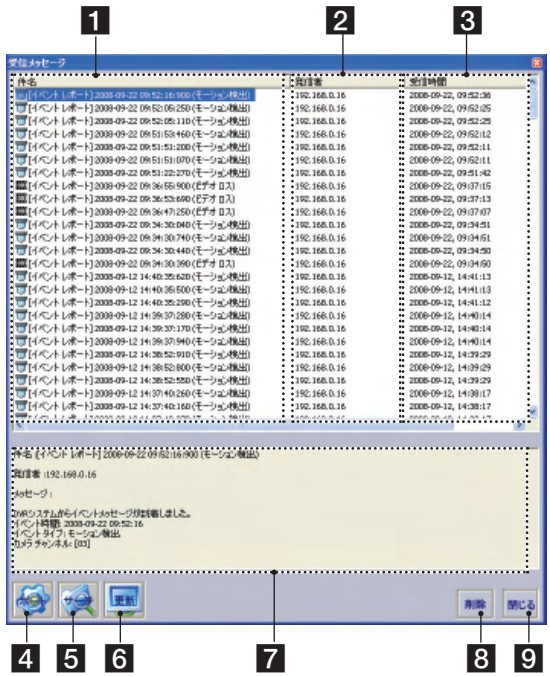
1. 緊急エージェント・プログラムを開始するため[LG Emergency Agent] アイコンをダブル・クリックします。
   エマージェンシー・アイコンは、スクリーンの右下のシステム・トレイに表示されます。

2. 通知機能が動作する時はいつでもメッセージ・ボックスがスクリーンの右下に表示されます。
   メッセージ・ボックスは5秒間表示されます。



3. メッセージをチェックします。
4. [受信メッセージ] ウィンドウを表示するため5秒以内にメッセージ・ボックスをクリックしてください。
   または
   システム・トレイのプログラム・アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[メッセージ・ボックスの確認]オプションを選び[受信メッセージ]ウィンドウを表示します。
5. 受け取ったメッセージのすべての主題をチェックできます。
6. [閉じる]ボタンをクリックして[受信メッセージ]ウィンドウを閉じます。

緊急エージェントのメイン・スクリ-ン

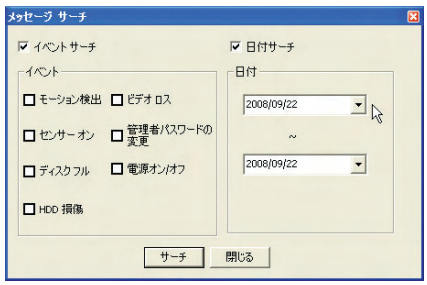


1 メッセージの種類を表示します。
2 IPアドレスを表示します。
3 受信時間を表示します。
4 ポート変更ウィンドウを表示します。
5 検索ウィンドウを表示します。
6 リストの受信メッセージをリフレッシュします。
7 受信メッセージの詳細ビューです。
8 リストの選択メッセージを削除します。
9 [受信メッセージ] ウィンドウを閉じます。

ポートの設定

1. ポート・ボタンをクリックします。
   オプションのウィンドウが表示されます。
2. 緊急エージェント・リッスン・ポートのポート番号を入力します。工場初期ポートは9002です。
   機密保護等のため、ポート番号を変更することができます(1025 ~ 65535)。
3. OKボタンをクリックして終了します。

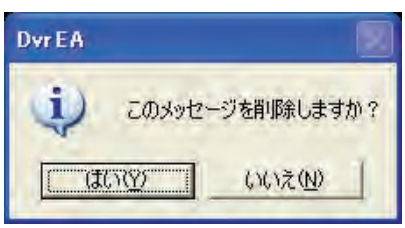
メッセージ サーチ



1. サーチボタンをクリックします。
   メッセージ検索ウィンドウが表示されます。
2. 検索方法を選びます。
   - イベント サーチ : メッセージの選択イベント・タイプにより検索。
   - デート サーチ : 選択日付により検索。
3. 検索ボタンをクリックします。
   検索メッセージは[受信メッセージ] ウィンドウに表示されます。

リストからメッセージの削除

1. 削除したいメッセージを選びます。
2. 削除ボタンをクリックします。
   確認ウィンドウが表示されます。

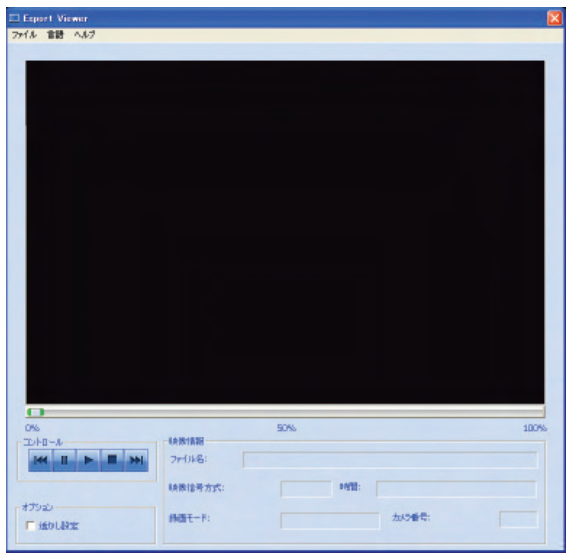


3. [はい]ボタンをクリックしてメッセージを削除します。

エクスポート・ビューア・プログラム

このプログラムを用いてPCのエクスポート・データを再生できます。このプログラムは、クライアント・プログラムインストールする時、あるいはデータをエクスポートする時に、自動的にインストールされます。

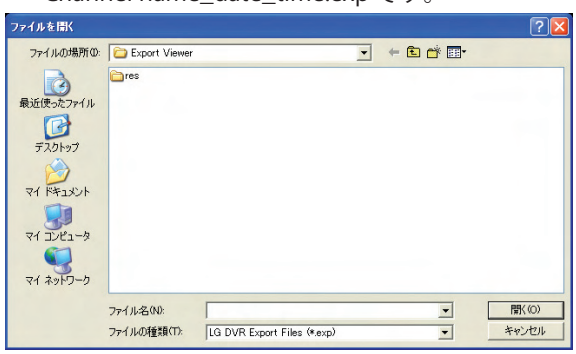
エクスポート・ビューアのメイン・スクリ-ン



- プログラム・メニュー
  - ファイル
    - > 開く : データ・ファイルを開きます。
    - > プリント : 現在、再生されている映像を印刷します。
    - > 終了 : プログラムを終了します。
  - 言語: エクスポート・ビューア・プログラムで使う言語を選択します。
  - ヘルプ
    - > Export Viewer情報:エクスポート・ビューアの情報を表示します。
- 制御アイコン
  - ⏮: ファイルの初めへジャンプ
  - ⏸: 一時停止
  - ▶: 再生を開始
  - ■: 再生を停止
  - ⏭: ファイルの終わりへジャンプ
- 透かしの設定
  再生するファイルが元の録画ファイルと異なると、透かしオプション付きで警告ウィンドウが現われます。
- 映像情報
  - ファイル名 : ファイル名を表示します。
  - 時間 : データの録画日と時刻を表示します。
  - 映像信号方式 : データのビデオ・タイプを表示します。
  - カメラ番号 : 録画データのカメラ・チャンネル番号を表示します。
  - 録画モード : データの保存モードを表示します (連続、モーション、その他)。

データの再生

1. PCの[LG Export Viewer]アイコンをダブル クリックするか、または外付けUSBデバイスのExport Viewerフォルダーにある[LG Export Viewer.exe]ファイルを実行します。 エクスポートされるデータCDあるいはDVDを挿入すると、エクスポート・ビューア・プログラムが自動的に起動します。エクスポート・ビューアのウィンドウが表示されます。
2. [ファイル] > [開く]を選択します。
   開いているウィンドウが表示されます。
3. USBデバイスのルート・ディレクトリを選択して、希望するファイルを検索、選択します。
   再生可能なファイル・フォーマットの例は、Channel name_date_time.exp です。



4. 開くボタンをクリックします。
   選択データは自動的に再生されます。

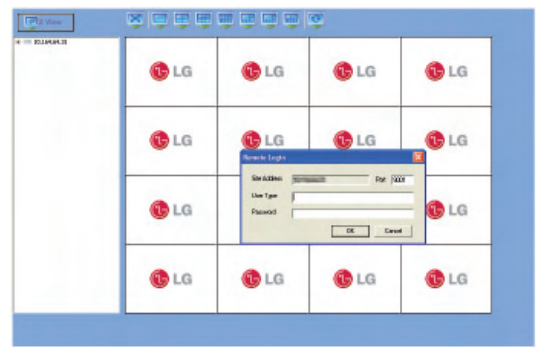
5. 再生を停止するのに■ (STOP)ボタンをクリックします。

ウェブ ビューアー プログラム

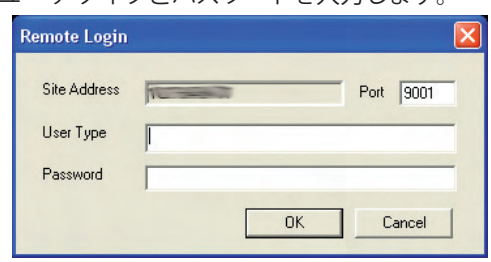
ウェブ ビューアーへのログイン

1. ウェブ ブラウザーを開始します。
2. アドレス ボックスへ、「http://」と本製品のIPアドレスを入力します。 No-IPウェブサイトのホスト名を使い、本製品と接続できます。

3. ENTERを押すと、ウェブ ビューアーとリモート ログイン メニューが表示されます。



4. ユーザ タイプとパスワードを入力します。



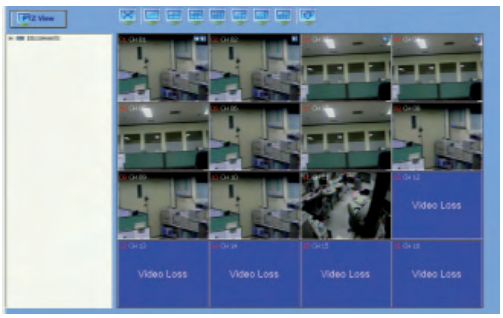
5. [OK]をクリックします。

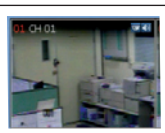
注:

- ウェブ ビューアーが表示されない場合は、本製品のTCP/IPの設定を確認します。
- 本製品を最初に接続する場合には、セキュリティ警告ウィンドウが表示されます。ウェブ ビューアーを使用するプログラムをインストールするためには、セキュリティ警告ウィンドウの[Install]をクリックする必要があります。 [Don't Install]をクリックすると、ウェブ ビューアー プログラムは利用できません。

ウェブ ビューアーの使用

ウェブ ビューアーを用いて、ライブ映像を制御できます。



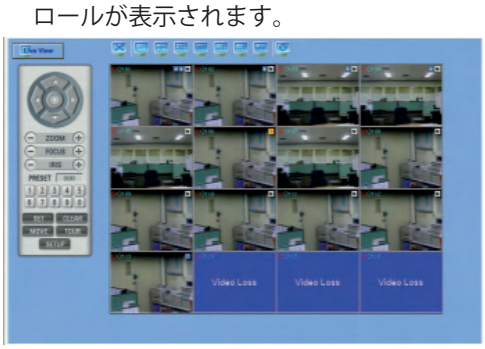
	モード選択アイコン。このアイコンをクリックして、PTZビュー モードあるいはライブ ビューモードに変えます。
	画面モード選択アイコン （44ページ参照）
	ライブ画面表示ウィンドウ （16ページ参照）

ライブ画面コントロール

- マウス左ボタン： チャンネルを選択します。1スプリット モードに設定する場合は、選択されたチャンネルをダブルクリックします。普通の画面に戻るには、再度ダブルクリックします。
- マウス右ボタン： フル スクリーン モードを終了する場合は、マウスの右ボタンをクリックしてノーマル スクリーンに戻します。

PTZビュー コントロール

1. PTZビュー アイコンをクリックして、PTZビュー モードを変えます。PTZのバーチャル リモート コントロールが表示されます。



2. PTZカメラを制御するためにバーチャル リモート コントロール ボタンを使います。詳細については、45-46ページの「パン/チルト/ズーム機能の利用」を参照してください。

参考資料

トラブルシューティング

アレクソン・サポートセンターへ連絡する前に、以下のガイドにより確認してください。

症状	解決法
電源がオンにならない。	本製品にDCアダプタが正しく接続されていることを確認してください。
	DCアダプタに電源コードが正しく接続されていることを確認してください。
	電源コードを正しく接続しても、本製品の電源がオンにならない場合、アレクソン・サポートセンターへご連絡ください。
電源はオンになるが、ビデオ・データがモニタに表示されない。	モニタの電源コードが正しく接続されていることを確認してください。
	モニタの電源がオンであることを確認してください。
	本製品からのビデオ出力ケーブルがモニタに正しく接続されていることを確認してください。
	選択モニタのタイプを確認してください(12ページ参照)。
	本製品の電源コードを抜き、再度差し込んでください。
カメラ番号はスクリーンに表示されるが、カメラの映像は表示されない。	ビデオケーブルに問題がないことを確認してください。
	カメラの電源コードが正しく接続されていることを確認してください。
	カメラからのビデオ出力ケーブルが、本製品に正しく接続されていることを確認してください。
	本製品の電源コードを抜き、再度差し込んでください。
カメラの映像はスクリーンに表示されるが、録画しない。	録画設定メニューの録画モードを確認してください。
	システム情報ウィンドウのHDD 検出状態を確認してください。HDD 検出状態が異常の場合、アレクソン・サポートセンターへご連絡ください。
	HDD の録画可能なディスク・スペースを確認してください。
	上書き録画セットアップ・メニューの上書きオプションを確認してください。
録画した映像の検索ができない。	タイム・テーブルの検索を行っているとき、録画したビデオ・データがあることを確認してください。
	録画したビデオ・データがない場合、録画設定メニューの録画モードを確認してください。
	システム情報ウィンドウのHDD 検出状態を確認してください。HDD 検出状態が異常の場合、アレクソン・サポートセンターへご連絡ください。
	ユーザのタイプをチェックしてください。 検索機能は、Normal Userでは利用できません。

症状	解決法映像
映像と共に録音した音声が再生できない。	カメラ設定の音声設定が、録音したいカメラに正しく設定されていることを確認してください(21ページ参照)。
	マイク(カメラのオーディオ出力)と本製品のオーディオ(ライン入力)が、正しく接続されていることを確認してください。
	オーディオ・アンプが正しく接続されていることを確認してください。
ビデオの映像が異常なカメラがある。	動作している別のカメラを接続して試し、カメラが破損していないことを確認してください。
	ビデオ・フォーマットの設定が、接続したカメラのビデオ・フォーマットと同じであることを確認してください。 カメラのビデオ・フォーマットは、PALかNTSCをサポートできます。
映像に多くのノイズがある。	カメラからのビデオ信号出力に問題がないことを確認してください。 正常にビデオ出力できる別のカメラで試してください。
	カメラと本製品間のビデオ・コードに問題がないことを確認してください。 別のビデオ・コードで試してください。
	カメラと本製品間のビデオ・コードの周りに、電源ケーブルがないことを確認してください。 ビデオ品質を劣化させるノイズ問題の原因になることがあります。
	カメラと本製品間のビデオ・コードが、正しいビデオ・コードであるか確認してください。電力を供給しているコードをビデオ・コードの代りに使用すると、ノイズが発生することがあります。
センサーが動作しない。	カメラ設定のセンサーの種類が、接続したセンサーと同じであることを確認してください。
	録画設定メニューの録画スケジュールでセンサーを使用するよう設定されていることを確認してください。
	センサーがALARM-IN.に正しく接続されていることを確認してください。
PTZカメラが動作しない。	カメラ設定でPTZカメラを使用するよう設定されていることを確認してください。
	PTZカメラの電源コードが正しく接続されていることを確認してください。
	PTZカメラの信号コードが正しく接続されていることを確認してください。
	PTZカメラを制御するチャンネル選択を確認してください。
	ユーザのタイプをチェックしてください。 PTZカメラの制御は、Normal Userでは利用できません。

症状	解決法
電子メールが受信できない。	SMTPサーバー設定なしで電子メールの受信に失敗する。 • ネットワークが正しく設定されていることを確認してください。 • メールアドレスが正しく入力されていることを確認してください。 • 入力したメールアドレスのスパム・メール設定を確認してください。(スパム・メールの設定をすると、いくつかのメールが自動的に削除されるかスパム・メール・ボックスに分類されます) • メール・サービス会社によっては、プライベートSMTPサーバーからの電子メールをサポートしていないので、ISPのSMTPサーバーを使用してください。
	SMTPサーバーを設定しても電子メールが受信されない。 • [Please check the SMTP information or internet cable]メッセージが表示される時 - SMTPサーバー・アドレスを確認してください。 - SMTPポート番号を確認してください(標準設定は25)。 - ネットワーク設定を確認してください。 • [Please check the authentication information]メッセージが表示される時 - ユーザ名を確認してください。 - パスワードを確認してください。 • エラー・メッセージなしでメール受信に失敗する時 - 受信者のメールアドレスを確認してください。 - 電子メールが受信者のメール設定でスパム・メールとして分類されていないことを確認してください。
リモコンが正常に動作しない。	リモコンの電池を確認してください。
	リモコンのID設定を確認してください(10、37ページ参照)。

推奨デバイス

サポートされるUSBメモリのリスト

番号.	メーカ	モデル名	容量
1	LG Electronics	XTICK Mini Slide / Slide	1G/2G/4G
2	IOCELL	CellDisk Swing	1G/2G/4G/8G
3	Sony	MicroVault	1G/2G/4G
4	HP	S100 / M100 / V210W	1G/2G/4G
5	SANDISK	Cruzer Micro	512M/1G
6	TRANSCEND	JF	1G/2G
7	IMATION	Flash Drive Nano / Icon	1G/2G
8	Samsung Electronics	Classic&Simple	1G/2G/4G/8G

注:

- サポート外のUSBメモリを使用した場合、読み込みは可能ですが、正常に動作しないことがあります。

- 本製品は、250GB以下の容量の外付けUSB HDDドライバーをサポートしています。 外付けのUSB SATAタイプのHDDドライバーには対応していません。
- **USB1.1**のメモリーには対応していません。

サポートされているCD/DVDメディアのリスト

メーカ	CD-R	CD-RW	DVD-R	DVD-RW	DVD+R	DVD+RW
Imation	O	O	O	O	O	O
Memorex	O	O	O	O	O	O
MITSUBISHI	O	O	O	O	O	O
PHILIPS	O	O	O	O	O	O
SONY	O	O	O	O	O	O
Verbatim	O	O	O	O	O	O

注:

8 cm (1.4GB) のMini CD/DVD および二層タイプのメディア(DVD)はサポートしていません。

デバイスに対してサポートされている機能のリスト

デバイス	インスタント・バックアップ	スケジュール・バックアップ	エクスポート	構成インポート/エクスポート
CD/DVD	O	X	O	X
USB memory	O	O	O	O
USB HDD	O	O	O	O

注:

構成インポート/エクスポート用にUSBメモリまたはHDDを用いる場合、他の外部USBデバイスを切断しなければなりません。

サポートされているPTZカメラのリスト

プロトコル名	メーカ	パン/チルト	ズーム	フォーカス	アイリス	プリセット	ツアー	セットアップ
LG_MULTIX	LG	YES	YES	YES	YES	YES	YES	YES
LG_SD168	LG	YES	YES	YES	YES	YES	YES	YES
LG_ZOOM	LG	No	YES	YES	YES	No	No	YES
LPT_A100L	LG	YES	No	No	No	No	No	No
PELCO D	PELCO	YES	YES	YES	YES	YES	YES	YES
PELCO P	PELCO	YES	YES	YES	YES	YES	YES	YES
GANZ_DSCP	CBC	YES	YES	YES	YES	YES	YES	YES
GANZ_P360V1	CBC	YES	YES	YES	YES	YES	YES	NO
KALATEL_CYBERDOM	KALATEL	YES	YES	YES	YES	YES	YES	NO
PANASONIC_CS850	PANASONIC	YES	YES	YES	YES	YES	YES	YES
SAMSUNG_SCC	SAMSUNG	YES	YES	YES	YES	YES	YES	YES
BOSCH_AUTODOME	BOSCH	YES	YES	YES	YES	YES	YES	YES

タイム ゾーン

タイムゾーン名	タイムゾーン略語	タイムゾーン	DST
エニウェトク、クワジャリン	EK	-12:00	
ミッドウェー、サモア	MIS	-11:00	
ハワイ	HAW	-10:00	
アラスカ	ALA	-09:00	-08:00
太平洋標準時（米国とカナダ）、ティファナ	PST	-08:00	-07:00
山地標準時（米国とカナダ）、チワワ、ラパス、マサトラン、アリゾナ	MST	-07:00	-06:00
中部標準時（米国＋カナダ）、サスカチェワン、グアダラハラ、メキシコシティ、モンテレー、中央アメリカ	CST	-06:00	-05:00
東部標準時（米国＋カナダ）、インディアナ（東部）、ボゴタ、リマ、キト一	EST	-05:00	-04:00
大西洋標準時（カナダ）、カラカス、ラパス、サンティアゴ	AST	-04:00	
ニューファンドランド	NWF	-03:30	-02:30
ブラジル、ブエノスアイレス、ジョージタウン、グリーンランド	BBA	-03:00	
中部大西洋	MAT	-02:00	
アゾレス、カボヴェルデ諸島	AZO	-01:00	
グリニッチ標準時： ダブリン、エディンバラ、リスボン、ロンドン、カサブランカ、モンロヴィア	GMT	0	+01:00
アムステルダム、ベオグラード、ブラティスラヴァ、ブダペスト、リュブリャナ、プラハ、サライェヴォ、スコプリエ、ワルシャワ、ザグレブ、ブラッセル、コペンハーゲン、マドリッド、パリ、ベルリン、ローマ、ストックホルム、ウィーン、西中央アフリカ	AMS	+01:00	+02:00
アテネ、イスタンブール、ミンスク	AIM	+02:00	+03:00
ブカレスト、カイロ、プレトリア、エルサレム、ハラレ、プレトリア	BCP	+02:00	+03:00
ヘルシンキ、リガ、イスラエル、キエフ、ソフィア、タリン、ヴィリニュス	HRI	+02:00	+03:00
バグダッド、クウェート、リヤド、ナイロビ	BKR	+03:00	+04:00
モスクワ、サンクトペテルブルグ、ヴォルゴグラード	MSV	+03:00	+04:00
テヘラン	THE	+03:30	+04:30
アビダビ、マスカット、バクー、トビリシ、エレヴァン	ABT	+04:00	
カブール	KAB	+04:30	
エカチェリンブルグ、イスラマバード、カラチ、タシケント	EIK	+05:00	
ボンベイ、カルカッタ、マドラス、ニューデリー、チェンナイ、コルカタ	BCD	+05:30	
アルマトゥイ、ダッカ、コロンボ、アスタナ、スリ ジャヤワルデナプラ、ノヴォシビルスク	ADC	+06:00	
バンコック、ハノイ、ジャカルタ、クラスノヤルスク	BHJ	+07:00	
北京、長清、香港、ウルムチ	BHU	+08:00	
パース、シンガポール、台北、北京、重慶、香港特別自治区、ウルムチ、クアラルンプール、イルクーツク、ウランバートル	SST	+08:00	
大阪、札幌、東京	OST	+09:00	
ソウル、ヤクーツク	SYA	+09:00	
アデレード、ダーウィン	ADA	+09:30	
ブリスベーン、グアム、ポートモレスビー	BGP	+10:00	
キャンベラ、メルボルン、シドニー	CMS	+10:00	
ホーバート、ウラジオストク	HVL	+10:00	
マガダン、ソロモン諸島、ニューカレドニア	MSN	+11:00	+12:00
オークランド、ウエリントン	AWE	+12:00	
フィジー諸島、カムチャッカ、マーシャル諸島	FKM	+12:00	

出荷時設定一覧

分類	詳細項目		初期設定
第1レベル	第2レベル	第3レベル	
カメラ	カメラ	チャンネル	01
		名称	CH 01
		非表示	オフ
		音声	01
	PTZ	チャンネル	CH 01
		ポート	なし
		コントロールID	0
		プロトコル	LG_MULTIX
		ボーレート	9600
	録画	チャンネル	CH 01
		解像度	704X480
		画質	最高
		フレーム レート	7.5
		プリ	オフ
		ポスト	10 秒
	センサー 録画	チャンネル	CH 01
		解像度	704X480
		画質	最高
		フレーム レート	7.5
	モーション 録画	チャンネル	CH 01
		解像度	704X480
		画質	最高
		フレーム レート	7.5
	映像信号方式	映像信号方式	NTSC
スケジュール	日		C（緑：連続録画）
	月		C（緑：連続録画）
	火		C（緑：連続録画）
	水		C（緑：連続録画）
	木		C（緑：連続録画）
	金		C（緑：連続録画）
	土		C（緑：連続録画）
	特別設定日		N（灰：録画スケジュールなし）
ディスプレイ	スクリーン表示	言語	日本語
		チャンネル名	オン
		チャンネル ステータス	オン
	メイン モニター	表示時間	2 秒
	スポット モニター	表示時間	2 秒
		イベント ポップアップ	オフ
		スポット チャンネル	01

分類	詳細項目		初期設定
第1レベル	第2レベル	第3レベル	
イベント	センサー	入力チャンネル	01
		センサー タイプ	N.O.
		カメラ	01
		リレー出力	オフ
	モーション	チャンネル	01
		感度	05
		リレー出力	オフ
	出力	リレー オフ	アラーム確認
ネットワーク	TCP/IP	DHCP	オン
		IPアドレス	空欄
		サブネット マスク	空欄
		ゲートウェイ	空欄
		メインDNS	空欄
		サブDNS	空欄
		TCP/IPポート	9001
		ウェブ サーバー ポート	80
		帯域幅スロットル	100 Mbps
	ダイナミックDNS	DDNSサービス	オフ
		ホスト名	空欄
		登録済みホスト	空欄
		アップデート	-
	通知	センサー オン	オフ
		モーション検出	オフ
		ディスク フル	オフ
		Adminパスワードの変更	オフ
		ビデオ ロス	オフ
		電源オン/オフ	オフ
	メール	通知	オフ
		SMTPサーバー	空欄
		SMTPポート	25
		ユーザー名	空欄
		パスワード	※※※※※※
		TLS	オフ
		メールアドレス 1	空欄
		メールアドレス 2	空欄
		メールアドレス 3	空欄
		Eメールテスト	-
	緊急通報	通知	オフ
		緊急ID	01
		IPアドレス	空欄
		ポート	9002

分類	詳細項目		初期設定
第1レベル	第2レベル	第3レベル	
システム	日付/時間	日付	（年 / 月 / 日）
		時間	AM / PM 時間 / 分 / 秒
		日時表示形式	(年 / 月 / 日)
		時間フォーマット	12HR
		タイム ゾーン	GMT + 09 : 00
		サマータイム	オフ
		サマータイム開始	1月、1番目、日曜、00時
		サマータイム終了1	1月、1番目、曜日、00時
	NTP	NTP	オフ
		サーバー	パブリック サーバー
		プライベート タイム サーバー	空欄
		NTP同期間隔	1日
		NTPテスト	-
	ブザー	ボタン音	オフ
		センサー ブザー	オフ
		モーション ブザー	オフ
		システムブザー	オフ
	ユーザー	番号	01
		ID	ADMINISTRATOR
		レベル	Administrator
		パスワード	000000
	アップデート	アップデート項目	システム ソフトウェア
		アップデート方法	USB経由
		アップデート サーバー	空欄
		アップデート	-
	ハード ディスク	フォーマット	オール
		上書き	オール
		フル ワーニング	オフ
		イベント パーティション	0%
		オート デリート	オフ
		フォーマット	-
	バックアップ	パーティション選択	オール
		スケジュール	インスタント
		デバイス	1.DVD GH10L
		スケジュール開始	曜日 / 時 ： 分
		時間範囲 日付	年 / 月 / 日
		時間範囲 開始	時間：分
		時間範囲 終了	時間：分
		開始	-
		消去	-
		推定	-
	システム	IRリモートID	01
		DVR ID	なし
		自動ユーザ ログアウト	オフ
		デフォルト	-
		エキスポート	-
		インポート	-

録画タイム・テーブル(500GB HDD)

解像度 (NTSC/PAL)	品質	NTSC			PAL		
		FPS	録画時間 (Hr)		FPS	録画時間 (Hr)	
			映像	映像+音声		映像	映像+音声
352x240 / 352x288	ロング	30	3178	2180	25	2246	1698
		20	3790	2452	20	2374	1768
		15	3984	2532	12.5	2772	1982
		7.5	5406	3040	6	4028	2550
		5	5568	3090	5	4452	2712
		3	6072	3240	3	4594	2766
		1	6404	3332	1	5330	3016
	ロー	30	2560	1870	25	1928	1508
		20	2978	2084	20	1932	1512
		15	2986	2088	12.5	2246	1696
		7.5	3950	2518	6	3154	2168
		5	3920	2506	5	3692	2410
		3	4128	2590	3	3876	2488
		1	4392	2690	1	4022	2548
	標準	30	2076	1598	25	1406	1170
		20	2364	1764	20	1372	1146
		15	2262	1706	12.5	1536	1258
		7.5	2992	2090	6	2350	1756
		5	2916	2054	5	2512	1844
		3	3058	2122	3	2524	1852
		1	3208	2194	1	2748	1968
	ハイ	30	1560	1274	25	1034	900
		20	1832	1450	20	990	868
		15	1794	1426	12.5	1120	964
		7.5	2422	1796	6	1898	1492
		5	2382	1774	5	2056	1586
		3	2508	1844	3	2086	1604
		1	2670	1928	1	2270	1712
	最高	30	1404	1168	25	766	690
		20	1636	1324	20	786	706
		15	1598	1300	12.5	848	756
		7.5	2158	1646	6	1548	1266
		5	2128	1628	5	1694	1362
		3	2272	1712	3	1742	1394
		1	2424	1796	1	1886	1482

解像度 (NTSC/PAL)	品質	NTSC			PAL		
		FPS	録画時間 (Hr)		FPS	録画時間 (Hr)	
			映像	映像+音声		映像	映像+音声
704x240 / 704x288	ロング	15	2320	1738	12.5	1710	1372
		7.5	3056	2122	6	2042	1578
		5	3250	2214	5	2310	1734
		3	3580	2362	3	2516	1848
		1	4040	2554	1	3814	2462
	ロー	15	1878	1478	12.5	1468	1212
		7.5	2328	1744	6	1868	1472
		5	2372	1768	5	2160	1648
		3	2828	2010	3	2426	1798
		1	2710	1950	1	2466	1820
	標準	15	1540	1260	12.5	1168	1000
		7.5	1826	1446	6	1214	1034
		5	1822	1442	5	1308	1100
		3	1860	1468	3	1384	1154
		1	1986	1544	1	1854	1464
	ハイ	15	1254	1062	12.5	908	802
		7.5	1508	1240	6	948	834
		5	1510	1240	5	1046	910
		3	1550	1268	3	1142	980
		1	1650	1334	1	1534	1256
	最高	15	1148	986	12.5	762	688
		7.5	1366	1142	6	802	718
		5	1362	1138	5	880	780
		3	1396	1162	3	972	852
		1	1492	1228	1	1340	1122

解像度 (NTSC/PAL)	品質	NTSC			PAL		
		FPS	録画時間 (Hr)		FPS	録画時間 (Hr)	
			映像	映像+音声		映像	映像+音声
704x480 / 704x576	ロング	7.5	1548	1266	6	1070	928
		5	1662	1340	5	1452	1200
		3	1888	1484	3	1598	1300
		1	2186	1662	1	2144	1638
	ロー	7.5	1302	1096	6	946	834
		5	1344	1126	5	1214	1032
		3	1474	1216	3	1310	1102
		1	1666	1344	1	1622	1316
	標準	7.5	1196	1022	6	814	730
		5	1210	1030	5	1102	952
		3	1310	1102	3	1178	1008
		1	1424	1182	1	1350	1130
	ハイ	7.5	1036	900	6	698	634
		5	1036	902	5	954	838
		3	1114	960	3	1012	884
		1	1212	1032	1	1136	976
	最高	7.5	952	838	6	558	516
		5	954	838	5	820	732
		3	1018	888	3	874	776
		1	1104	954	1	988	864

仕様

品目			仕様
映像	ビデオフォーマット		NTSC/PAL (選択可能)
	入力		4 x コンポジット 1.0Vp-p, 75Ω BNC
	出力	ループスルー	4 x コンポジット 1.0Vp-p, 75Ω BNC
		コンポジット	1 x コンポジット 1.0Vp-p, 75Ω BNC
		VGA	1 x RGB, 15ピンD-sub
		スポット	1 x コンポジット 1.0Vp-p, 75Ω BNC
音声	入力		4 x モノラル、RCAラインイン
	出力		1 x モノラル、0dB RCA
アラーム	入力		4 (NCまたはNOを選択可能)
	出力		1 (NCまたはNOを選択可能)
	eメールへのアラームの通知		あり
録画	フレーム レート (/秒)	NTSC	最大120 IPS @ 352x240, 最大60 IPS @ 704x240, 最大30 IPS @ 704x480
		PAL	最大100 IPS @ 352x288, 最大50 IPS @ 704x288, 最大25 IPS @ 704x576
	品質レベル		5レベル
	録画モード		連続、アラーム、モーション、インスタント
	スケジュール録画		あり
	イベント パーティション録画		あり
	プリイベント録画時間		あり 60 秒
検索	再生機能		FF、FB、フレーム送り
	再生速度		x1, x2, x4, x8, x16 -x1, -x2, -x4, -x8, -x16
	検索モード		日付/時刻、イベント(モーション、アラーム)、ブックマーク
	インスタント再生		あり
ディスプレイとユーザI/F	スクリーン分割モード		1, 4
	OSDタイプ		GUI
	ユーザ インタフェース		マウス、IRリモコン、キーボード コントローラ (LKD1000)
ストレージ	内蔵HDD	インタフェースのタイプ	SATA
		最大容量	500GB
	内蔵ODD		あり
バックアップ / エクスポート	バックアップ / エクスポート デバイスのインタフェース		3 x USB2.0、ネットワーク
	スケジュール バックアップ(自動バックアップ)		あり
	バックアップ時間の推定		あり
	バックアップ / エクスポート ファイルのフォーマット		AVI、ネイティブDVRフォーマット

シリアル I/F	PTZコントロール	インタフェース	2 x 半二重RS-485
		コントロール機能	パン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリス、プリセット、ツアー、カメラOSDコントロール
	RS-232インタフェース		1 x RS-232C, 9ピンD-sub (コンソール)
	RS-485インタフェース		2 x ターミナル ブロック (PTZまたはリモート コントロール キーボード)
ネットワーク	ネットワーク接続		イーサネット 10/100M (RJ-45)
	バンド幅コントロール		あり
	NTP (ネットワーク タイム プロトコル)		あり
	アプリケーションSW		PCクライアント、WEBクライアント、緊急エージェント、エクスポート ビュアー
セキュリティ	ボタン ロック		あり
	隠しカメラの防護		あり
	ユーザ レベル管理		あり
	データ インテグリティ チェック (透かし)		あり
システム	マルチプレックス		トリプレックス
	コンフィギュレーション設定のエクスポート/インポート		USBメモリ、ネットワーク
	夏時間		あり
	自動削除 (データ リテンション)		あり
	ドーム カメラ テレメトリ コントロール		あり
	S/Wアップデート	インタフェース	USBメモリ、ネットワーク
		アップデート項目	PTZ、ファームウェア
全般	ビデオ コーディツク		H.264
	電源		DC 12V, 5A (アダプター: AC100-240V 50/60 Hz)
	消費電力		最大40W
	寸法(幅x奥行x高 mm)		430 x 316.8 x 54
	重量(HDD除く)		2.7Kg
	動作温度/湿度		0 ºC ~ 40 ºC / 0%RH ~ 80%RH

株式会社 アレクソン

お問い合わせ先　サポートセンター　伊丹　☎072-780-1101
受付時間：月曜～金曜　9:20～12:00・13:00～17:00
（祝祭日、年末年始、弊社休日を除く）
http://www.alexon.co.jp/

本書の内容の一部または全部を無断転載、無断複写することは、堅くお断りします。
本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

2009.03.26　TIM2107C